

(高校生向け)  
大人になる前に  
知っておきたいお金の話

2024年○月○日



- J-FLEC（ジェイフレック）は金融経済教育を推進するため、法律に基づいて『**2024年に設立された中立・公正な認可法人**』です。
- 幅広い年齢層に向けて、一人ひとりのニーズに応えた金融経済教育の機会を官民一体で届けています。

## J-FLECについて

- 正式名称：金融経済教育推進機構

（英）J-FLEC: **J**apan **F**inancial **L**iteracy and **E**ducation **C**orporation

- 根拠法：金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律  
（2024年2月1日施行）

- 出資団体：政府、日本銀行、全国銀行協会、日本証券業協会



# 目次

1

【はじめに】  
金融リテラシー  
ってなに？

2

【使う】  
生活設計  
(ライフプランニング)

3

【使う】  
家計管理と  
キャッシュレス

4

【貯める・増やす】  
資産形成の基本  
(長期・積立・分散)

5

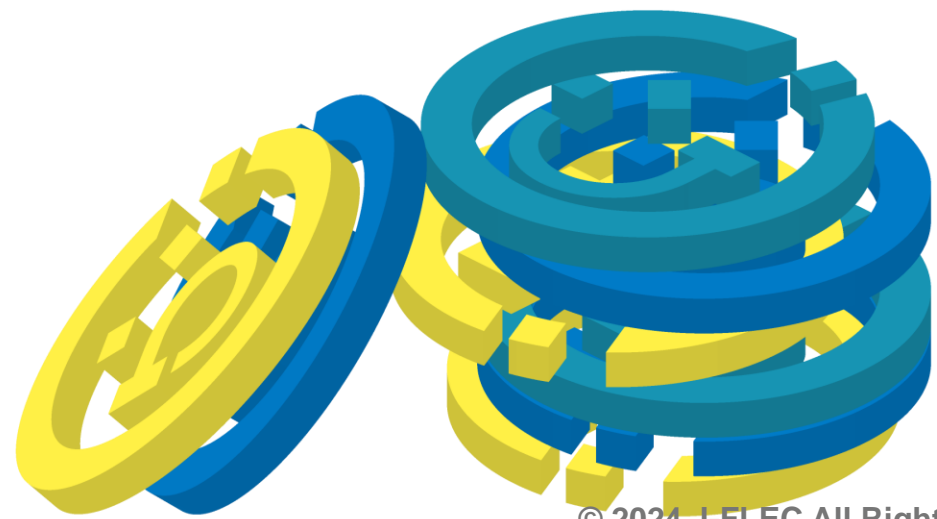
【備える】  
社会保険と  
民間保険

6

【借りる】  
ローン・クレジット、  
奨学金

7

【注意】  
金融トラブル



# 1 【はじめに】

## 金融リテラシーってなに？

○当てはまるものはありますか？



**海外留学**  
がしたい



**一人暮らし**  
がしたい



将来のために  
**お金を上手に貯めたい**



**ブランド品**  
を買いたい



起業して  
**社長になりたい**



**やりたい仕事**  
がある

- 金融リテラシーとは、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要な『**お金に関する知識や判断力**』のことです。
- 金融リテラシーを身につけることは安心した生活に繋がります。

### 金融リテラシーが高い人の特徴

- 家計管理がしっかりしている。
- 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい。
- 緊急時の備えがあるので、危機（自身の病気やケガ、不景気による収入減など）に強い。
- 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない。
- **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる。**



○2022年4月から『**成年年齢が18歳に引き下げ**』られました。

## 18歳からできるようになること

保護者の同意がなくても契約可能

- 携帯電話を契約する
- 一人暮らしの部屋を借りる
- クレジットカードをつくる
- ローンを組む



## 注意点

(2022年3月まで)

⇒18歳は未成年なので、  
契約を取り消すことができた

(2022年4月以降)

⇒18歳は成年なので、  
契約を取り消せない

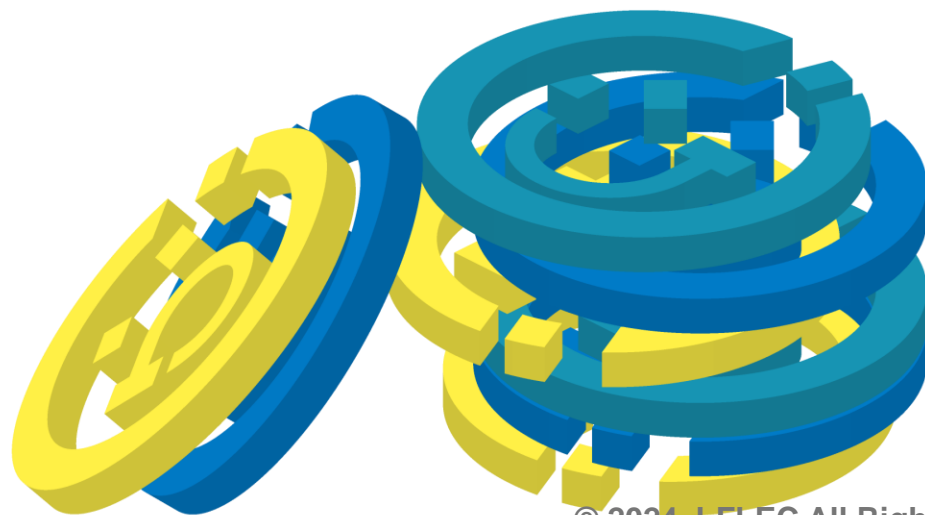


特に**悪質商法や詐欺のような契約には注意！**  
正しい金融リテラシーを身につけることが重要です！



## 2【使う】

# 生活設計 (ライフプランニング)





- 「将来どんな人生を送りたいか」についての構想を描くことを『生活設計（ライフプランニング）』といいます。

どんな仕事をしたい？

独身？ 結婚？

子どもは？

何歳まで働く？

どこに住む？

どんな暮らしをしたい？

いま

実現したいこと、ほしいものは？

○『職業や働き方、稼ぎ方は多種多様』です。

### 雇用される

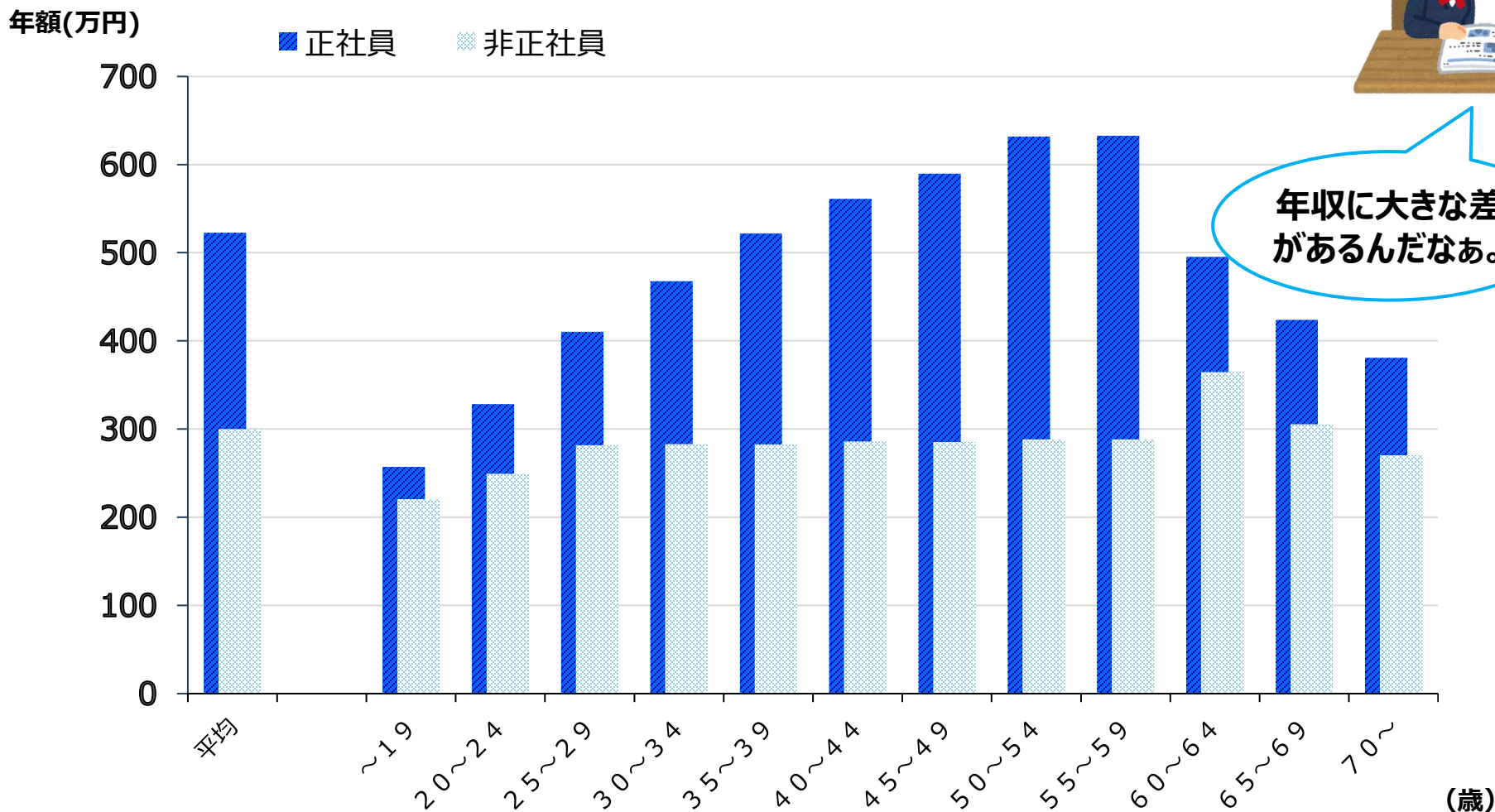
- 会社員  
(正社員、派遣社員など)
- 公務員
- アルバイト、パート など

### それ以外

- 家業などを継ぐ
- 起業する
- フリーランス (※) など

(※) 自身の経験や知識、スキルを活用し、  
案件ごとに収入を得ている人  
デザイナー、YouTuber、プログラマーに多い

## 雇用形態による年収の違い



推定年収 = 「きまって支給する現金給与額」×12ヶ月 + 「年間賞与その他特別給与額」として試算  
 (出所) 厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

- ライフイベントによって大きな支出を伴うことが多くなります。
- 将来のライフイベントにかかる『**必要金額をイメージ**』しましょう。
- また、『**想定外の支出もあり得ることをイメージ**』しましょう。

ライフイベントに必要な金額（費用）の例



結婚

挙式・披露宴  
新婚旅行等  
約300万円  
～500万円

自動車

国産大衆車  
約150万円  
～400万円  
※数年程度で  
乗り換えあり



教育費

幼稚園～  
大学生まで  
約500万円  
～2,000万円  
※公立か私立か  
で差が大きい

自宅購入

郊外での  
新築戸建て  
約2,000万円  
～5,000万円



老後の  
生活費

個人差が  
非常に大きい  
平均約24万円

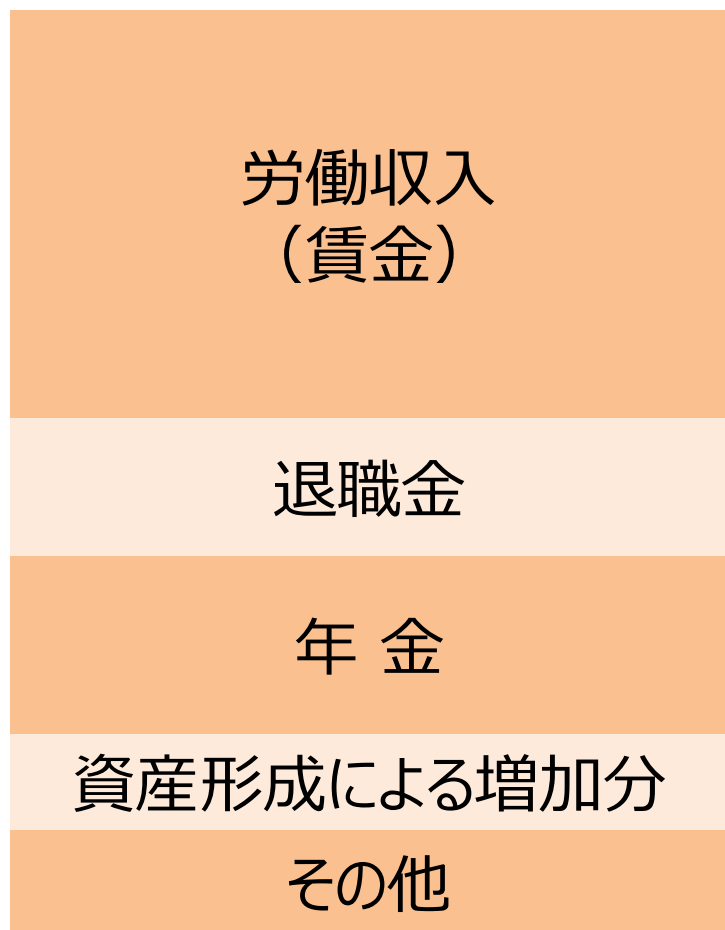
望まない  
想定外の  
緊急支出

病気やケガ、  
身内の不幸、  
被害者への  
賠償など



○生涯の『収入、支出のイメージ』をつかみましょう。

### <生涯総収入>



### <生涯総支出>



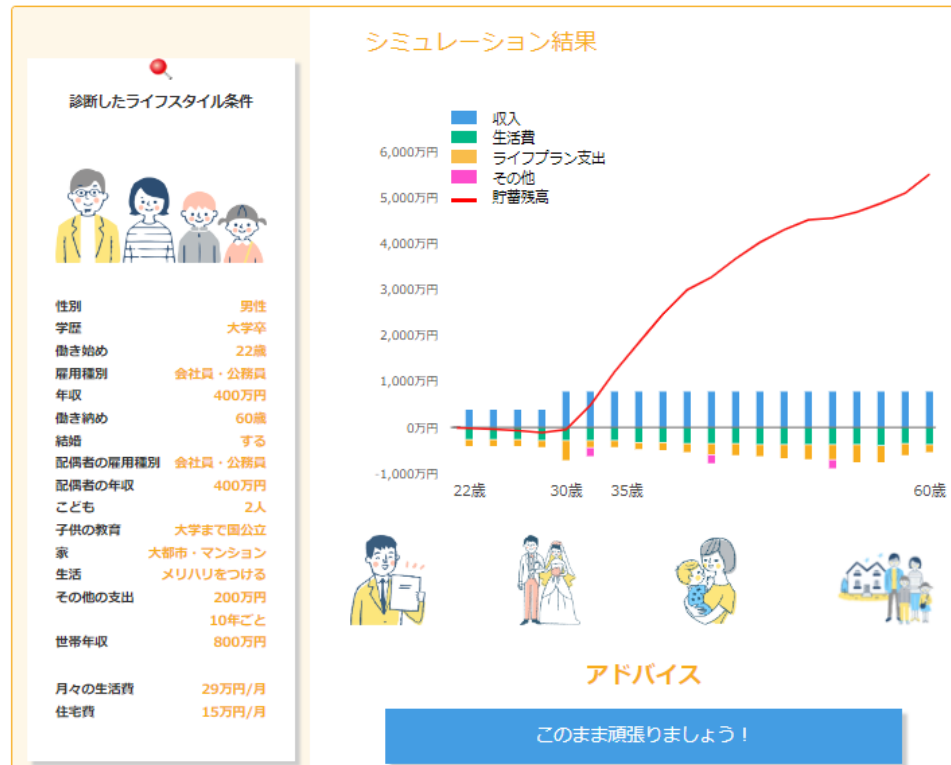
※図は生涯総収入と生涯総支出の一例です

○シミュレーションを使って実際にライフプランを立ててみましょう。

金融庁提供  
ライフプランシミュレーター

性別・学歴・雇用種別・年収・結婚・子ども・マイホーム購入等のライフイベントを入力することで、簡易的なシミュレーションを作成することができます。

ライフプランシミュレーター以外にも、家計管理や資産形成、借金のシミュレーターもあります。



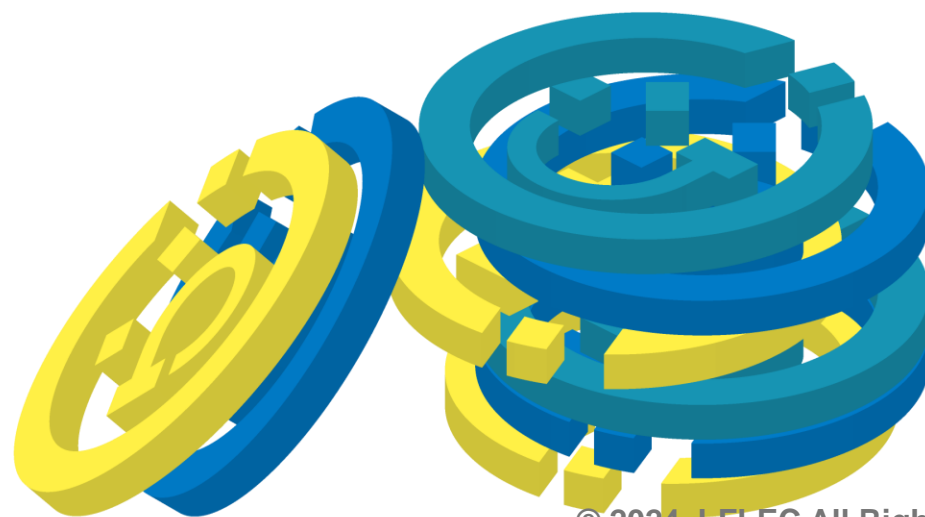
金融庁 ライフプランシミュレーター

検索



### 3 【使う】

## 家計管理とキャッシュレス





## クイズ



就職先から月給は20万円と言われた。毎月20万円までなら使って良い。○か×か？



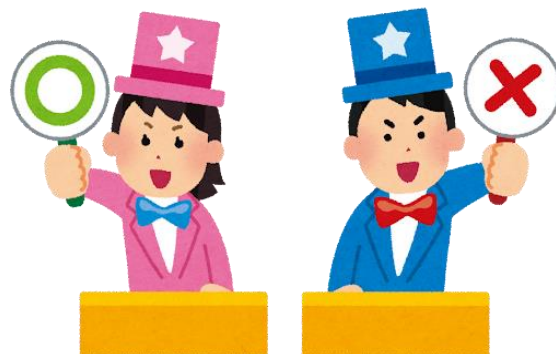




答え

×

月給が20万円でも、そこから税金や社会保険料が引かれるため、  
20万円がまるごと使えるわけではありません。  
社会保険料の仕組み、実際にいくら使えるかについて  
このあと学んでいきましょう。



- 給与明細から『**手取り収入**≒**可処分所得**』を把握し、その範囲内に支出を収めることが基本です。

## 給与明細の例

金額は概算 千円未満四捨五入 (単位: 円)

|    |         |        |                    |                |
|----|---------|--------|--------------------|----------------|
| 支給 | 基本給     | 時間外手当  | 通勤手当               | 支給額計           |
|    | 200,000 | 10,000 | 10,000             | <b>220,000</b> |
| 控除 | 雇用保険    | 健康保険   | 厚生年金保険             | 社会保険料計         |
|    | 1,000   | 10,000 | 20,000             | <b>31,000</b>  |
|    | 所得税     | 住民税    | 介護保険               | 税額計            |
|    | 4,000   | 7,000  | 介護保険は<br>40歳から納付開始 | <b>11,000</b>  |

社会保険の仕組みについては  
詳細後述

非消費支出

可処分所得

総支給額 - (社会保険料 + 税金) = **手取り収入**

220,000 - (31,000 + 11,000) = **178,000円**

- 普段生活をするうえで、収入と支出のバランスを管理することを『家計管理』といいます。
- 『支出は収入の範囲内に収める』ことが重要です。

## 高校生の場合

### 収入

小遣い  
お年玉  
アルバイト代



### 支出

参考書・雑誌 洋服  
友人との遊び ゲーム など





## 大学生の場合

### 収入

仕送り  
アルバイト代  
奨学金

## 社会人の場合

### 収入

給与  
賞与(ボーナス)



## 支出

|       |                  |
|-------|------------------|
| 食費    | 飲食などに必要なお金       |
| 住居費   | 家賃など             |
| 水道光熱費 | 電気・水道・ガスの料金      |
| 通信費   | 電話やインターネットの料金    |
| 交通費   | 移動するのに必要なお金      |
| 被服費   | 洋服代など            |
| 教養娯楽費 | 学習や娯楽に使うお金       |
| ローン返済 | クレジットやローン・奨学金の返済 |
| そのほか  | 冠婚葬祭費や医療費など      |



+

## 貯蓄

使わずに貯めておくお金

○お金の使い方を考える時は『**優先順位**』をつけましょう。

## 1. ニーズとウォンツを区別する。

- 必要なもの・こと (Needs : ニーズ)
- 欲しいもの・やりたいこと (Wants : ウォンツ)



2. お金を使うときには「**ニーズ (必要なもの)**」を優先しましょう

3. ウォンツの中でも優先順位をつけてお金を使いましょう。



## (1) キャッシュ

物理的な現金（紙幣・硬貨）

現金



## (2) キャッシュレス決済

お札や小銭などの現金を使用せずにお金を支払うこと

電子マネー



デビットカード



クレジットカード



QRコード



※キャッシュカードにデビット機能を備えたものがあります。



## 電子マネー



## デビットカード



## クレジットカード



## QRコード



|                |  |                                 |                                       |  |
|----------------|--|---------------------------------|---------------------------------------|--|
| 特徴             | 事前にカード等にお金をチャージしておき、支払いの際はカード等の残高から支払われる | 支払いを行うと、銀行などの口座からその場でお金が引き落とされる | 支払いを行うと、後日利用した金額がまとめて銀行などの口座から引き落とされる | 事前にスマホのアプリ等にお金をチャージしておき、支払いの際はアプリの残高から支払われる（事前にチャージをしていなくても、即時払いや後払いで利用できることもある） |
| 支払い・チャージのタイミング | 前払い                                      | 即時引き落とし                         | 後払い                                   | 前払い（即時払いや後払いのものもあり）  |

○キャッシュレス決済には、『**メリットと注意点**』があります。

## メリット

- ✓ 現金をたくさん持ち歩かなくてよい
- ✓ ATMに立ち寄る回数が減る
- ✓ お金のやり取りが簡単
- ✓ 何にいくら使ったか、アプリで確認できる など

## 注意点

- ✓ 使った実感が湧きにくいので、使いすぎてしまいやすい
- ✓ 店舗によって利用できないこともある
- ✓ 停電時などに使えない
- ✓ 不正送金など犯罪への不安 など

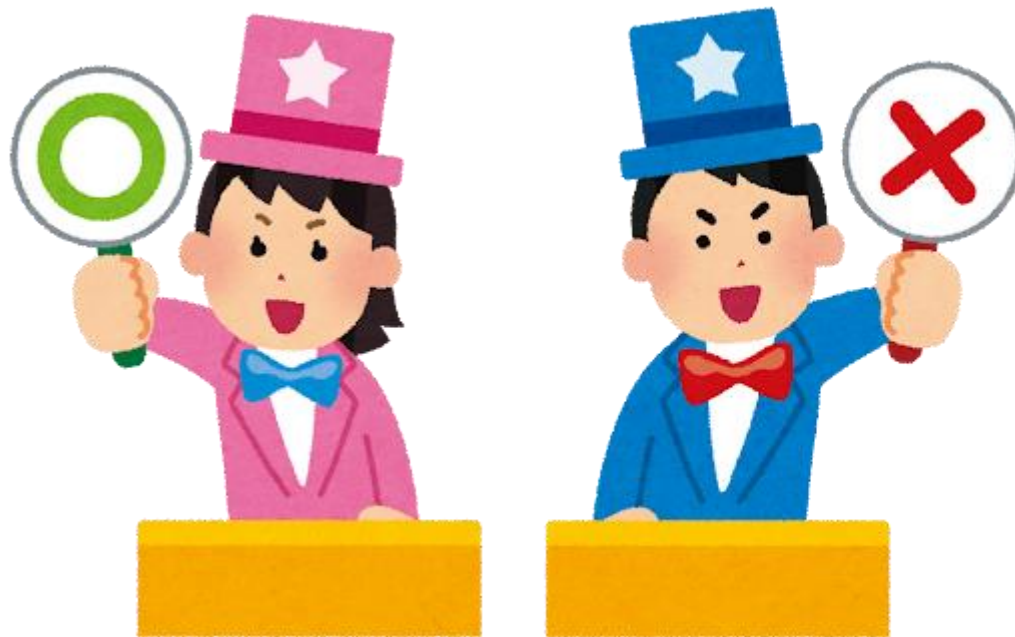




## クイズ



毎月残った金額を貯蓄していくと、貯蓄を増やしやす。○か×か？

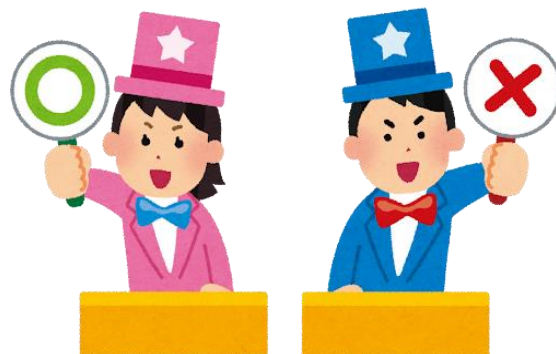




答え

×

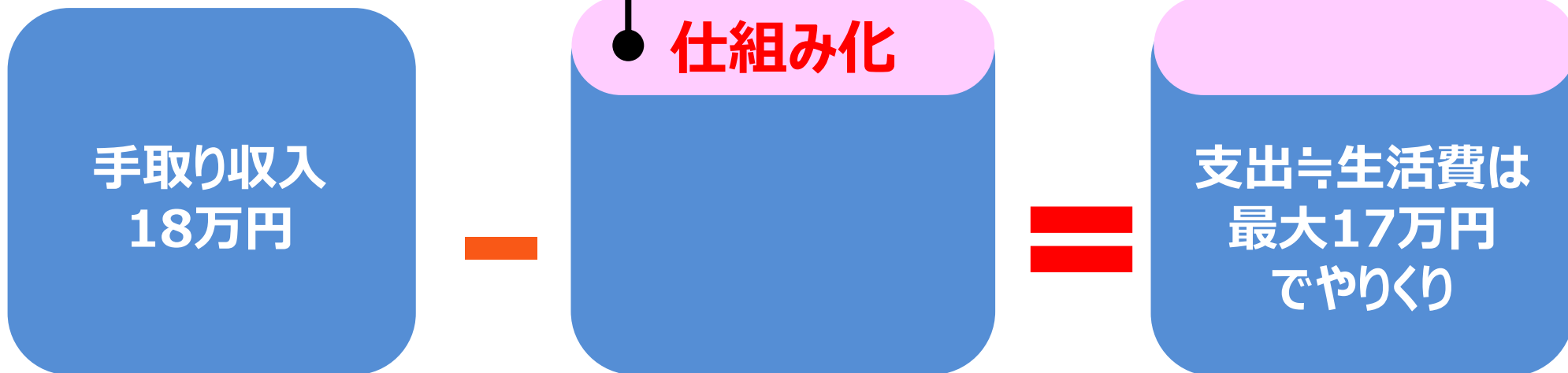
毎月残った金額を貯蓄していく方法だと、人間の心理的に目の前にお金を使ってしまうやすく、思ったように貯蓄するのは難しいと言われています。





- 「お金に余裕ができたとき」に貯めるのは案外難しく、『先に差し引くことがポイント』です。
- 無理のない範囲で「積立預金」や「積立投資」などを活用して、『お金を貯める・増やす仕組み化』が重要です。

例えば…



- お金を「使う」「貯める」「増やす・備える」の3つに分類して、  
『仕組み化で確保したお金を目的に応じて振り分け』ましょう。

## 毎月の手取り収入

給与明細書

仕組み化で確保した  
お金を目的別に  
「貯める」「増やす・備える」

優先順位での  
支出見直しが重要

### 使うお金 = 生活費

水道光熱費、通信費、  
遊興費、衣料品代など

<日常生活に必要なお金>



### 貯めるお金 = 目的あるお金

車購入、住宅購入、  
教育費、海外旅行代など

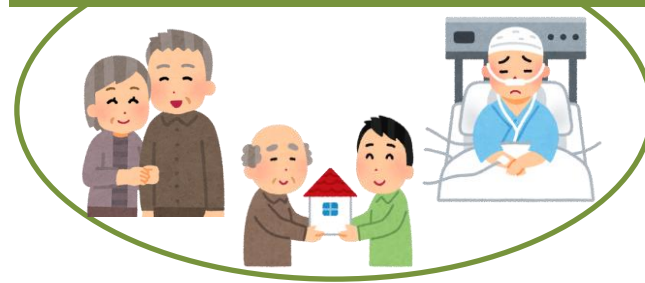
<近い将来に使う予定のお金>



### 増やすお金 + 備えるお金

老後資金、相続資金、  
大きな病気・ケガに備えるお金など

<当面使う予定のないお金>



- 家計管理・生活設計などのお金の疑問を、自分事として捉えるには、『**お金の専門家 (ファイナンシャル・プランナー (FP) 等) への相談を活用して、お金の見える化を行うこと**』も選択肢のひとつです。

### お金に関する 様々な疑問

例えば、家計管理・教育資金・社会保険・住宅資金・資産運用・  
税制・民間保険・老後資金・介護・相続・贈与 など

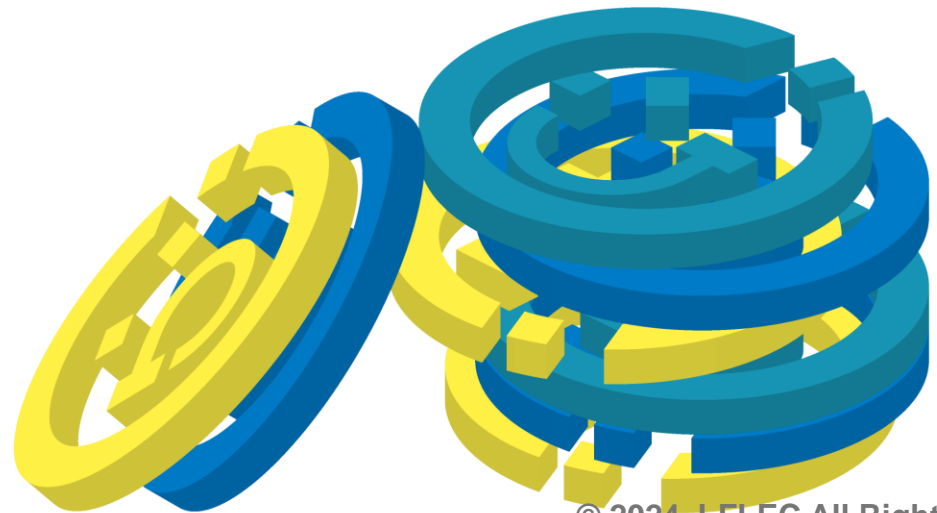
### 専門家への相談

- FP相談等では、収入・支出の整理・バランスをとる為の見直し方法、**ライフプランを踏まえたお金の見える化 (キャッシュフロー表の作成)**などを行ってもらうことができます。
- キャッシュフロー表はライフイベントの変化の際、もしくは**定期健康診断**のように**定期的に見直す**ことが重要です。



## 4 【貯める・増やす】

### 資産形成の基本 (長期・積立・分散)





## クイズ



元本（元手となるお金）が確実に保証されて、大きい利益が期待でき、必要な時にすぐ換金できる金融商品が存在する。○か×か。

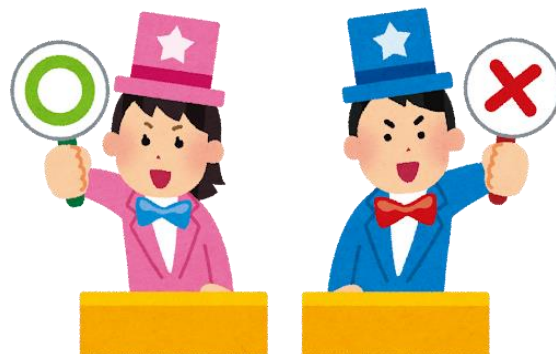




答え

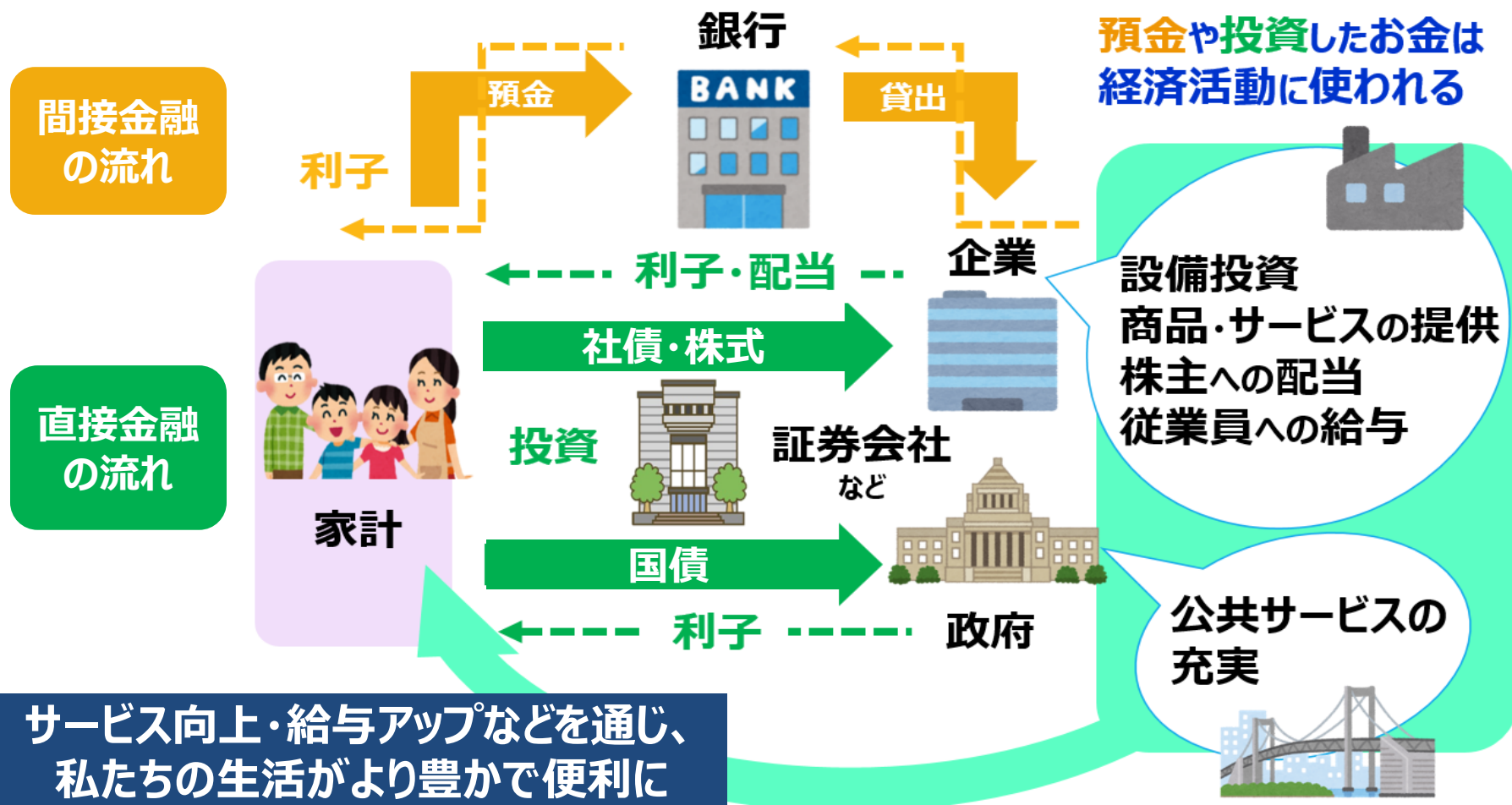
×

元本が確実で、大きい利益が期待でき、いつでも換金できるような金融商品は存在しません。この後詳しく学んでいきましょう。もしそういう商品を紹介してくる人がいた場合、それは詐欺です。





- 資産形成（預貯金・投資）は、『**経済活動を支える**』ことで、消費（商品の購入）と相まって『**経済を循環**』させています。



○消費や投資・寄付等を通じて、『**社会課題の解決やSDGsに貢献する**』ことができます。

## SDGsとは

「**持続可能な世界を実現する**」ことを目指して、国連サミットで採択された国際目標。貧困や飢餓、保健、教育、ジェンダー、環境、生産、雇用など、幅広く17のゴール・169のターゲットから構成される。



私たち

商品の購入

投資・寄付



環境  
保全

貧困  
対策

クリーン  
エネルギー



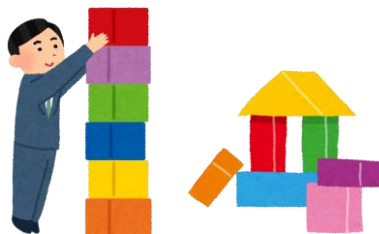
SDGsに取り組む企業

⇒ 消費（商品の購入）や投資（債券・株式などの購入）、寄付（クラウドファンディング等による被災地などへの寄付）等による資金提供を通じて、社会をより良くすることに貢献できます。



- 金融商品による資産形成の方法としては、「預貯金」と「投資」があり、『**目的に応じた金融商品を選択**』することが重要です。

## 預貯金



- ◆ 確実性重視（元本保証あり）
- ◆ 運用成果（結果）は商品選択時に決まっている※
- ◆ 原則、手数料はかからない

## 投資



- ◆ 増やすこと重視（元本保証なし）
- ◆ 運用成果（結果）は商品選択時に決まっていない※
- ◆ 株式・投資信託の購入などには手数料がかかることがある

### 主な金融商品

普通預貯金

定期預貯金

積立定期預貯金

株式

投資信託

債券（国債・社債など）

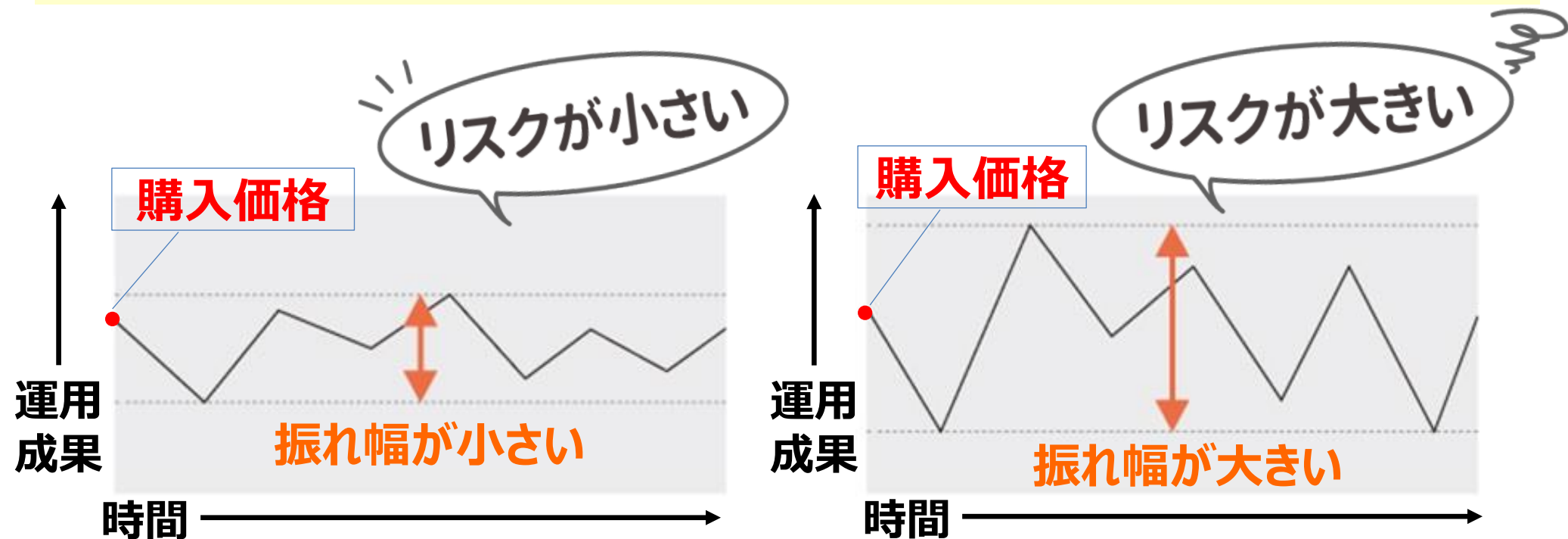


○金融商品は3つの観点（安全性・収益性・流動性）で整理  
 できますが、『3つとも◎の金融商品はありません。』

|      | 安全性<br>元本や利子の<br>支払いが確実か | 収益性<br>大きい収益が<br>期待できるか | 流動性<br>必要なときに<br>すぐに換金できるか |
|------|--------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 預貯金  | ◎                        | △                       | ◎                          |
| 株式   | △                        | ◎                       | ○                          |
| 債券   | ○                        | ○                       | △                          |
| 投資信託 | △ ~ ○                    | ○ ~ ◎                   | ○                          |

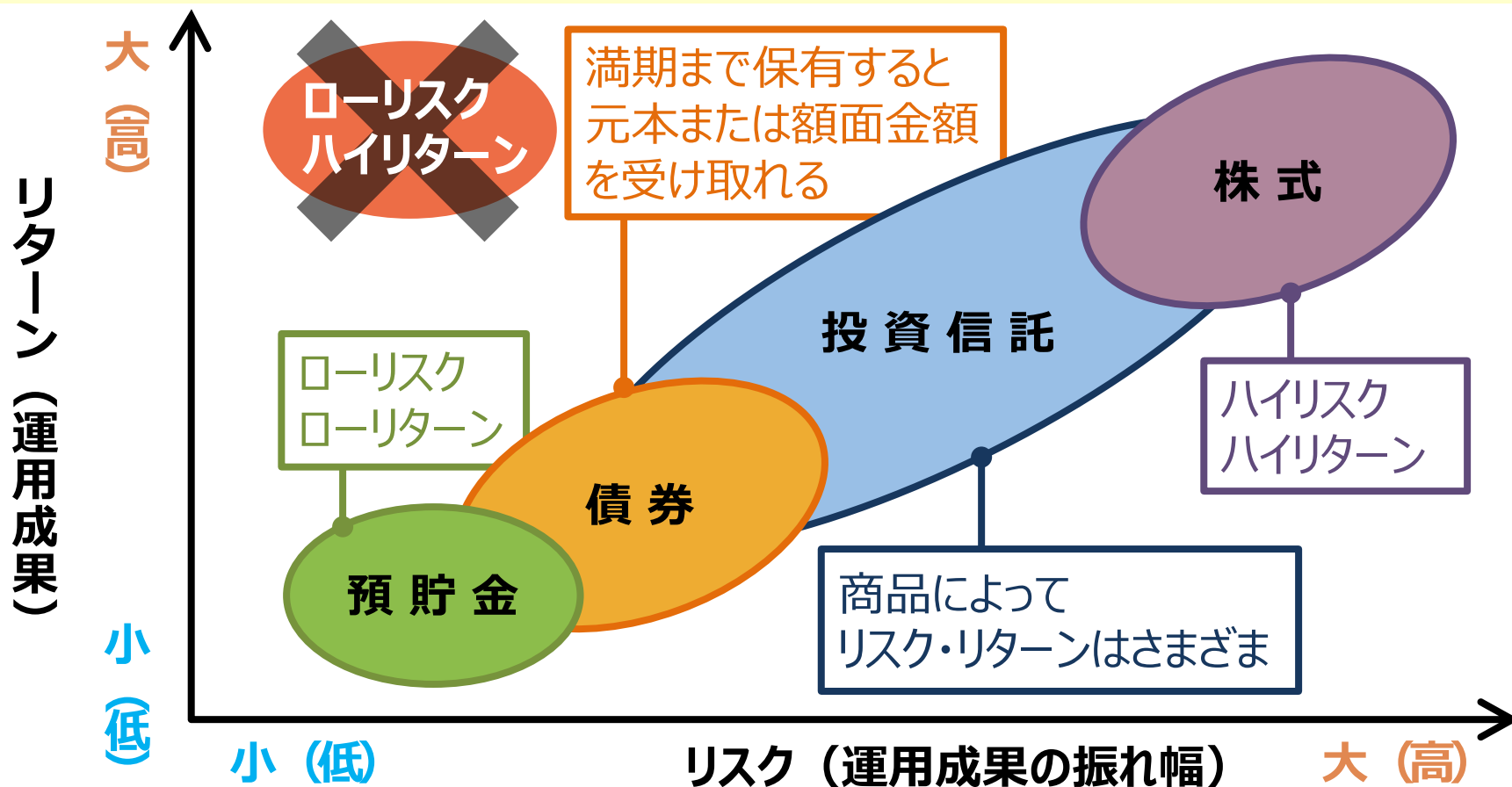


- 資産運用におけるリスクとは『**運用成果の振れ幅**』のことを指します。「リスクが大きい」とは、「とても危険」という意味ではなく、「大きく儲かるかもしれないし、大きく損をするかもしれない」（運用成果の振れ幅・不確実性が大きい）という意味です。
- 『**保険で備えるリスク（危険）**』とは意味が異なります。





- 原則、リスク（運用成果の振れ幅）とリターン（運用成果）は比例関係なので、『**ローリスク・ハイリターンの金融商品はありません**』。



※一般的なイメージ図であり、すべての金融商品があてはまるものではありません。

© 2024 J-FLEC All Rights Reserved.

- 投資は、リターン（運用成果）を期待して行いますが、以下の『**リスク（運用成果の振れ幅）もあることを理解**』して、無理のない範囲（当面使う予定のないお金）で行いましょう。

## 投資の主なリスク

### リスク

運用成果  
の振れ幅

つまり

様々な要因により  
資産価値が増減  
する可能性・不確  
実性のこと

価格変動  
リスク

株式や債券などの価格変動  
（上昇・下落ともに）



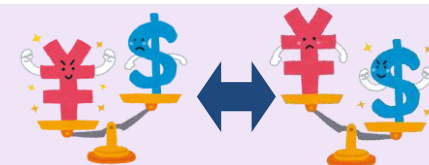
信用  
リスク

投資先企業の財務状況や  
経営状況（不祥事・倒産など）



為替変動  
リスク

外貨建て取引の換金時に  
適用する為替レート変動



カントリー  
リスク

国・地域の政治・経済環境  
（天災や戦争など）



要  
因



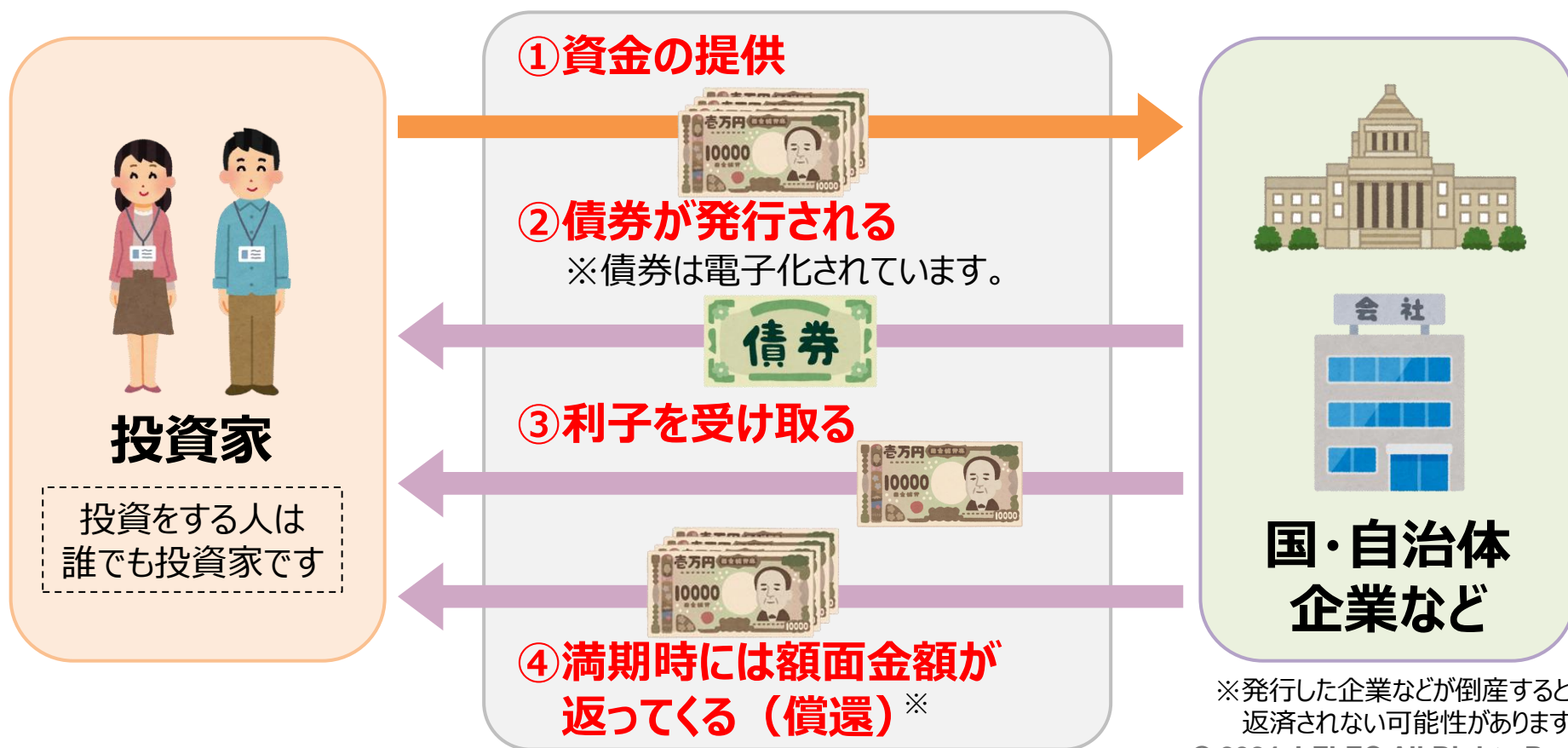
- 株式投資の特徴は、『①購入した株式の値動き、②配当金の受取り、③株主優待』の3点です。一般的にリスク・リターンともに大きくなります（ハイリスク・ハイリターン）。







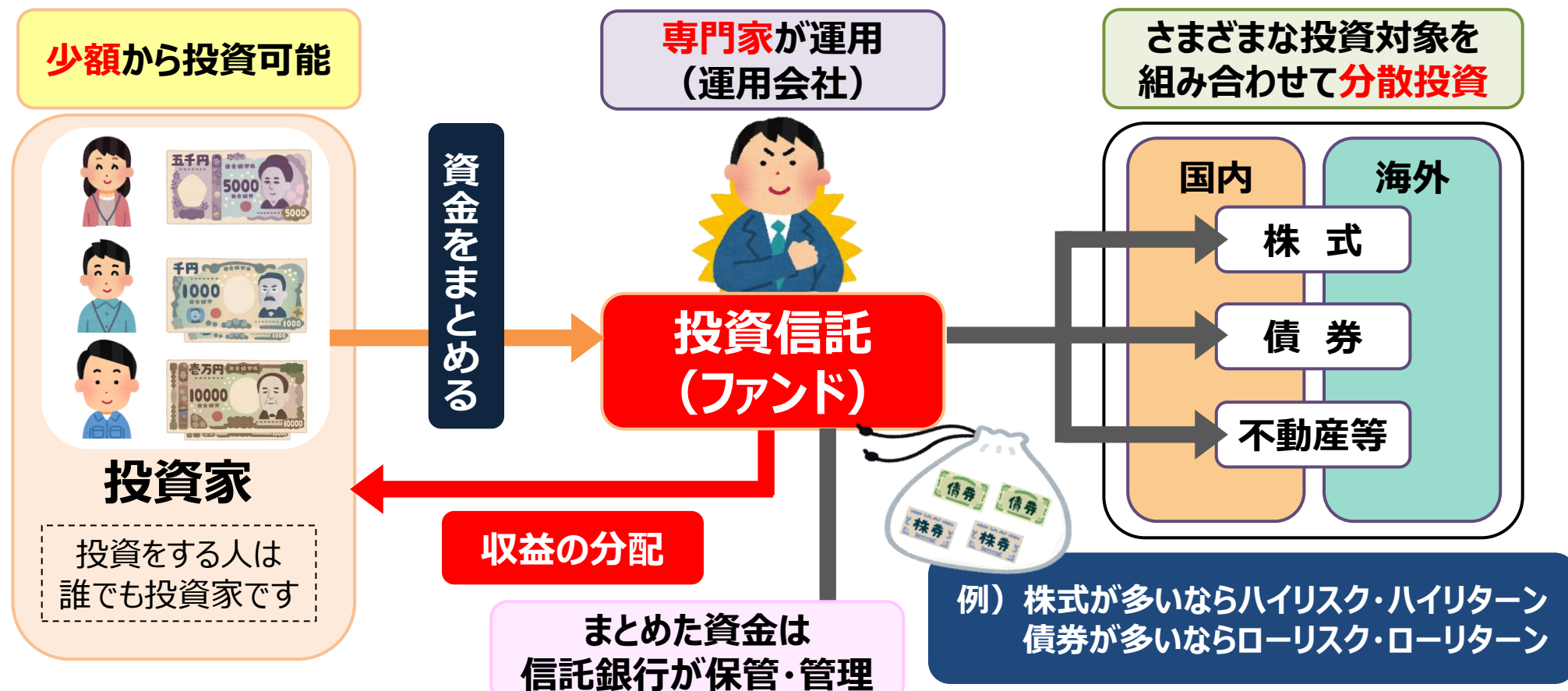
- 債券投資の特徴は、『①満期時の償還、②利子の受取り』の2点です。リスクは小さくリターンも小さめですが、基本的に安全性は高めです（ローリスク・ローリターン）。



※発行した企業などが倒産すると返済されない可能性があります。



- 投資信託の特徴は、『① 専門家が運用、② 少額から投資可能、③ 分散投資でリスク軽減』の3点です。組み合わせる商品によりリスクとリターンの程度が変わります。



- 投資スタイルには（リスク・コントロール型とリスク・テイク型）の2種類があります。『**リスクを抑えた安定的な資産形成にはリスク・コントロール型投資が向いています。**』

|        | リスク・コントロール型投資<br>(リスク抑制型の運用) | リスク・テイク型投資<br>(リスク許容型の運用)           |
|--------|------------------------------|-------------------------------------|
| ニーズ    | 投資で安定的な利益を出したい               | 投資で大きな利益を出したい                       |
| 必要なもの  | 長期の投資観<br>少額からの定期的な積立金       | 短～長期の相場観、<br>まとまった運用資金              |
| 投資スタイル | 長期・積立・分散投資                   | 個別銘柄への集中投資・積極運用                     |
| ポイント   | 長く続けること<br>⇒上がっても下がっても焦らない   | 自分なりの「売り」ルールをもつこと<br>⇒上下一定の幅を超えたら売る |
| 運用方法   | NISA（つみたて投資枠）<br>iDeCo／企業型DC | NISA（成長投資枠）<br>通常の証券口座              |

- 投資のリスク（運用成果の振れ幅）を軽減（コントロール）するには、『**長期・積立・分散投資**』の視点が重要です。

投資のリスク（運用成果の振れ幅）

リスクを抑える方法

長期投資

積立投資

分散投資



- 直近の世界株価動向は、『短期的な下落時期はあるものの、長期目線では世界経済の成長に伴って上昇傾向』です。

## 全世界株式 30年チャート

<出所 (MSCI ACWI) 30年チャート>



※過去のデータに基づくものであり、今後も上昇傾向にあることを保証するものではありません。

○ 預貯金や投資では、『**単利**』と『**複利**』という考え方があります。

－ 単利：元本のみに利息がつく計算方法

－ 複利：**元本と利息を合わせた額に利息がつく計算方法**

**100万円を利率5% で運用する場合（税金等は考えない）**

単利の場合

1年後：100万円 + 100万円 × 5% = 105万円

2年後：105万円 + (**100万円** × 5%) = 110万円

複利の場合

1年後：100万円 + 100万円 × 5% = 105万円

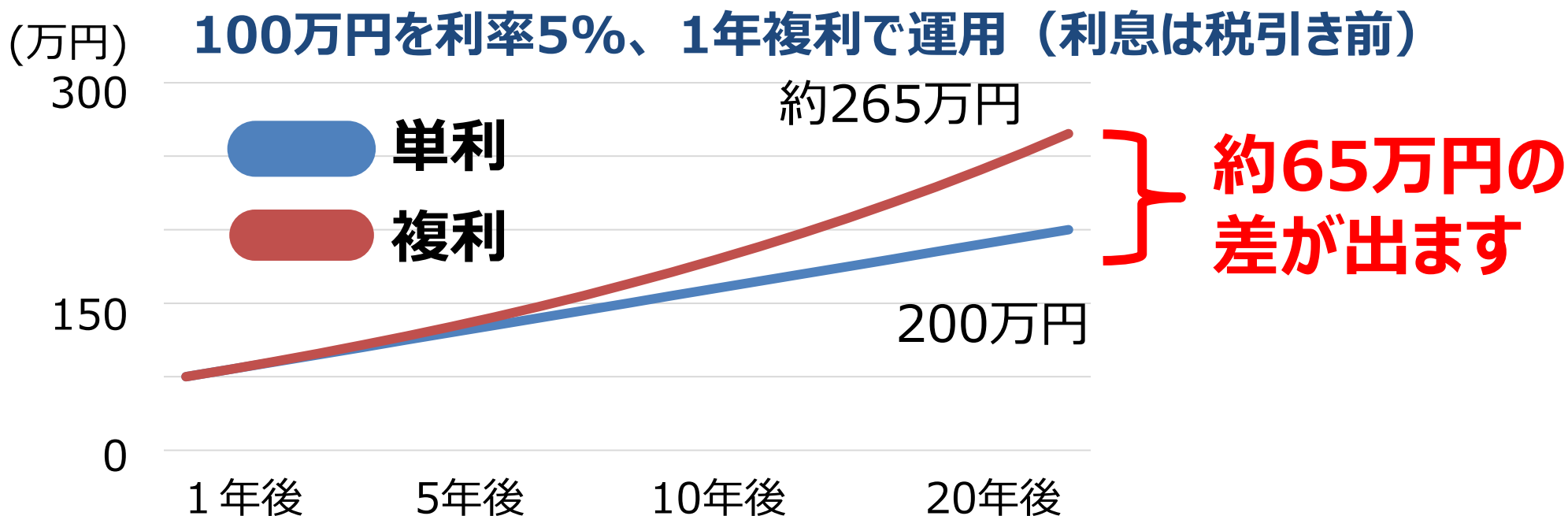
2年後：105万円 + (**105万円** × 5%) = 110万2500円

複利の場合は元本の100万円だけではなく、利息の5万円にも利息がつくため、より多く資産が増えることとなります。

○『**単利と複利では長期間で考えると大きな差**』が出ます。

– **単利**：元本のみに利息がつく計算方法

– **複利**：**元本と利息を合わせた額**に利息がつく計算方法

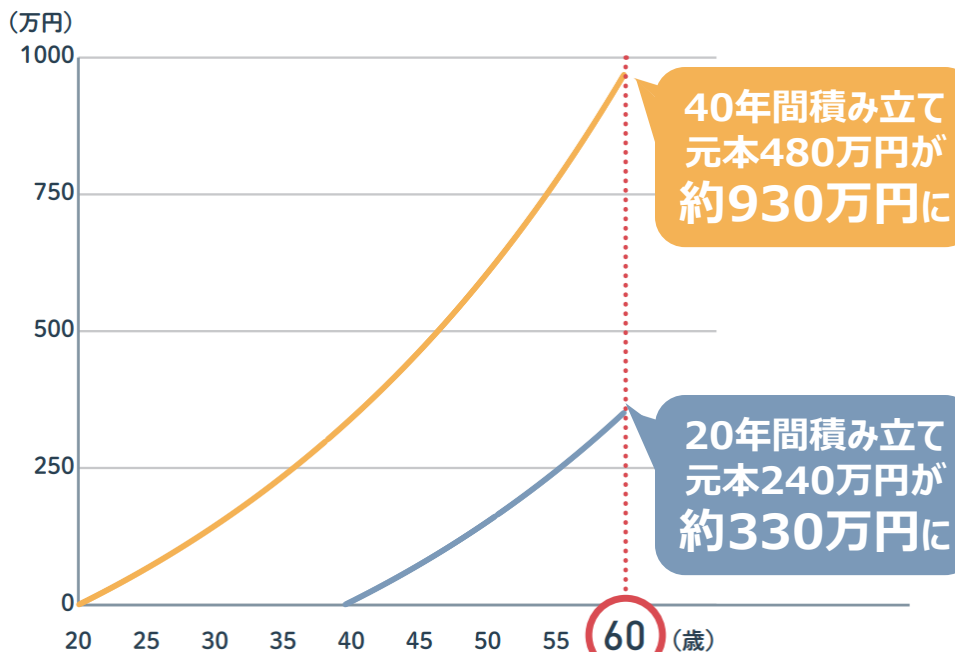


複利の効果を得るためにも、資産形成は長い時間コツコツ続けていくことが重要です。

- 『長い期間投資を続けると複利効果が大きく』なります。
- 『72の法則』でお金が2倍になる金利・期間が分かります。

## 複利効果

毎月1万円ずつ積み立て、利率3%で運用した場合



※投資や預金等で得た収益を、当初の元本にプラスして運用することで得られる利益を「複利」と呼びます。

<金融庁 はじめてみよう！NISA早わかりガイドブック>

## 72の法則

『 $72 \div \text{利率} (\%) \div \text{お金}が2倍になるために必要な期間$ 』

利率3%で運用した場合

$72 \div 3 \div \text{約}24年$

利率5%で運用した場合

$72 \div 5 \div \text{約}14.4年$

※72の法則はあくまで目安です。税金は考慮していません。まとまった金額を運用し続けた場合の計算です。

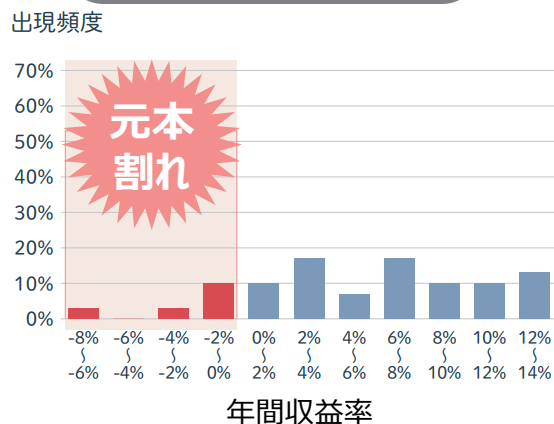


# ○積立投資を同じ金額・商品で行った場合でも、『より長期間続けた方が収益が安定し、元本割れの可能性を減らせます』。

## 長期投資の運用成果

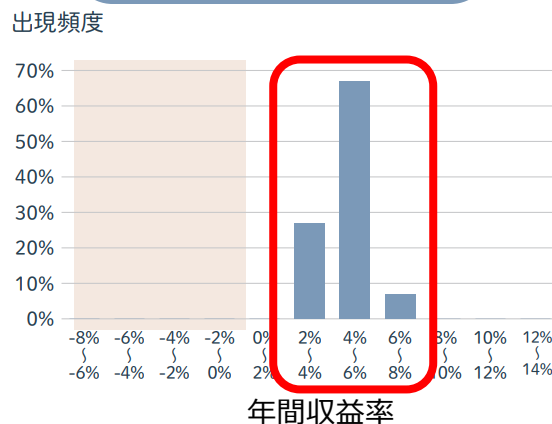
※1989年以降、毎月同じ金額ずつ国内外の株式・債券に積立投資し保有した場合。  
積立投資期間は各年1月～12月の一年間。  
※年間収益率：資産運用で得られた一年当たりの利益率

### 保有期間5年



100万円が5年後に  
74万円～176万円

### 保有期間20年



100万円が20年後に  
186万円～331万円

○同じ運用方法であっても、保有期間が比較的短い5年間の場合、大きな収益が出ることもあれば、元本割れになることもあります。

⇨ リスク（運用成果の振れ幅）が大きい

○一方、20年間という長い期間運用を続けた場合、平均すると安定して収益を挙げることができたとと言えます。

⇨ リスク（運用成果の振れ幅）が小さい

（日本株式：TOPIX配当込み株価指数、日本債券：BPI総合インデックス  
海外株式：MSCIコクサイインデックス（円換算ベース）、  
海外債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

※上記はあくまでシミュレーションであり、将来の投資成果を予想・保証するものではありません。また、具体指数・商品への投資を推奨するものではありません。



- 投資は一括購入だけでなく、少額積み立ても可能です。  
投資方法として『**定額購入（ドル・コスト平均法）**』があります。

### 一括購入

手持ち資金  
全額で一度に購入



### 定額購入 (ドル・コスト平均法)

**一定金額を**  
定期的に購入



例 毎月1万円ずつ購入

- 購入時期を分散して積み立てを行うことで、『**値上がり・値下がり**のリスクを抑える（平準化）効果』があります。
- また、定額購入は少額のため、負担感を抑えることができます。

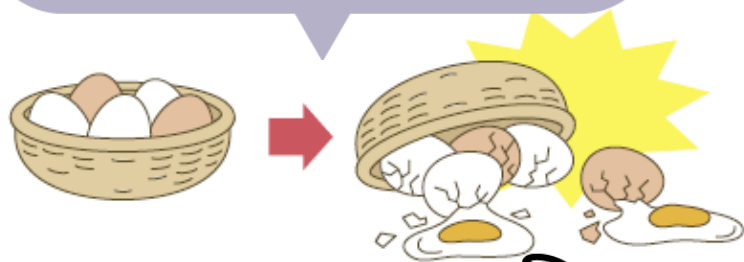
| 株価の<br>値動き              | 価格 |        |        |        |        | 合計<br>株数 | 1株あたりの<br>購入単価 |
|-------------------------|----|--------|--------|--------|--------|----------|----------------|
|                         |    | 1,000  | 1,500  | 500    | 1,000  |          |                |
| 一括購入                    | 株数 | 40     | 0      | 0      | 0      | 40       | 1,000          |
|                         | 価格 | 40,000 | 0      | 0      | 0      | 40,000   |                |
| 定額購入<br>(ドル・コスト<br>平均法) | 株数 | 10     | 6.6    | 20     | 10     | 46.6     | 858.3          |
|                         | 価格 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 | 40,000   |                |

※上記値動きの場合、定額購入（ドル・コスト平均法）が最も1株あたりの購入単価を抑える効果がありますが、値動きによっては必ずしも定額購入（ドル・コスト平均法）が最適解とは限りません。



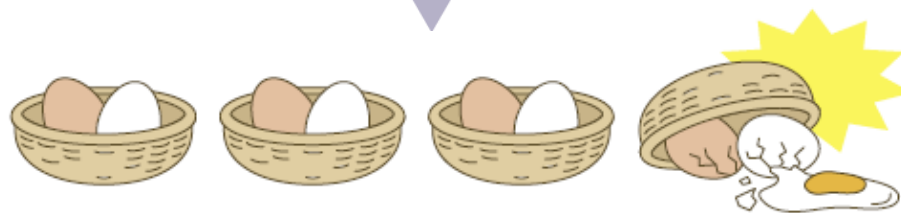
- 投資を行う際の合言葉に『**ひとつのカゴに卵を盛るな**』という言葉があります。

卵を1つのカゴに  
全部入れた場合  
(投資先が1つ)



カゴを落とした時に  
全てがダメに…

卵を複数のカゴに  
分けて入れた場合  
(投資先が複数)



1つを落としてしまっても  
残りは大丈夫!



- 分散方法は主に3つあります。『**資産・地域・時間の分散**』を通じてリスク（運用成果の振れ幅）を抑えることが重要です。

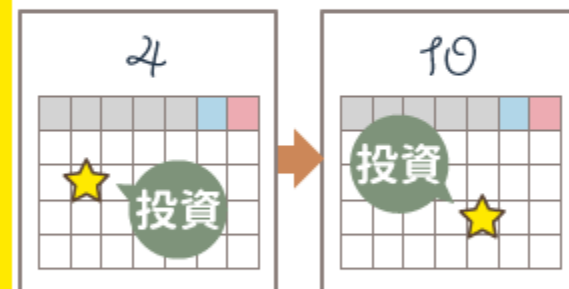
## 資産の分散



## 地域の分散



## 時間の分散



ドル・コスト平均法

○『長期・積立・分散投資を組み合わせること』が、より安定的にリターン（運用成果）を得るために効果的と言えます。

## 長期・積立・分散投資のシミュレーション（例）

2003年1月～2022年12月の毎月末に主な株式指数に1万円を積立投資した場合



- 長期（20年継続）
- 積立（毎月1万円）
- 分散（全世界・国内株式）

で投資を行うことで、運用資産は一時的な下落もありつつも、全体では元本（240万円）を大きく上回るリターン（運用成果）となりました。

※上記の結果は、将来の投資成果を保証するものではありません。  
税金・手数料などは考慮していません。  
また、具体指数・商品への投資を推奨するものではありません。

<金融庁 はじめてみよう！NISA早わかりガイドブック>

## クイズ



2024年1月から制度が新しくなった投資制度を知っていますか？初めて「長期・積立・分散投資」を行う場合に適した制度です。



○NISAとは、『「少額投資」による利益が「非課税」』になる制度です。



Check!

制度を利用するには、銀行や証券会社などでNISA口座※を開設する必要があります。

※原則1人1口座のみ。年単位で利用する金融機関を変更することができます。



- NISAは日本に住む『**18歳以上の人**』が利用可能で、  
『**つみたて投資枠**』と『**成長投資枠**』を利用することができます。

|                  | つみたて投資枠   | 併用可 | 成長投資枠                               |
|------------------|---|-----|-------------------------------------|
| 投資対象商品           | 長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託<br>(金融庁の基準を満たした投資信託に限定)                                       |     | 上場株式、株式投資信託など<br>(資産形成に不向きな一部商品は除外) |
| 年間投資枠            | 年間 <b>120万円</b>   |     | 年間 <b>240万円</b>                     |
| 非課税保有限度額<br>(総枠) | <b>1,800万円</b><br><b>(うち成長投資枠は1,200万円)</b><br>※購入商品を売却した場合、(購入時の買値分だけ翌年以降) 枠の再利用が可能 |     |                                     |
| 非課税保有期間          | <b>無期限</b>  |     |                                     |
| 買付け方法            | 「1カ月に1回」など定期的<br>に一定金額の買付けを行う<br>方法(積立投資)に限る  |     | 特に制限なし                              |

NISAについて基本から  
学ぶことができます。



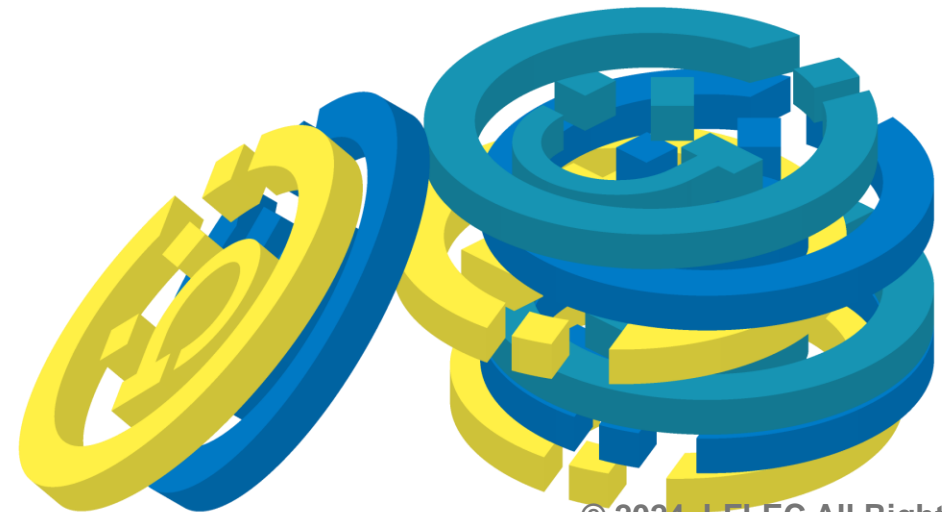
つみたてワニーサが  
ナビゲートしてくれます。



詳しくは

金融庁 NISA

検索



## 5 【備える】

# 社会保険と民間保険

- 人生には『様々なリスク（危険）』が存在します。
- リスクに対して、『どのように備えればよい』でしょうか。

例えば、



ケガをした



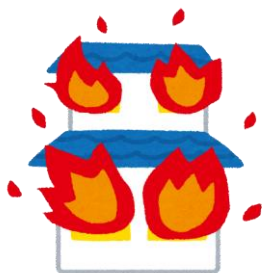
病気になった



親など家計を支えていた方が亡くなった



交通事故を起こした



家が火事にあった

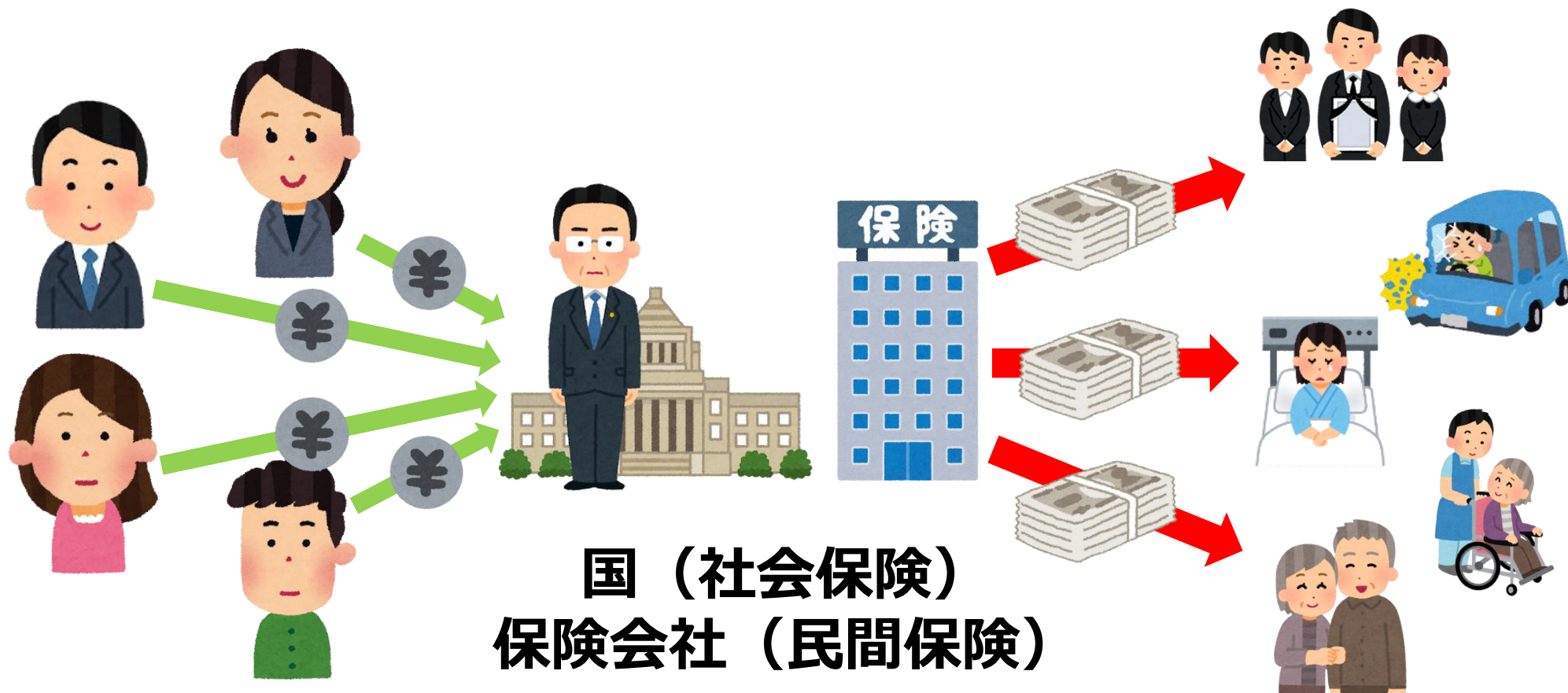


介護が必要になった



仕事を引退して長生きした

- 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金（＝保険料）を出し合って、万一の際にまとまったお金（＝保険金）が支払われるという仕組みが『**保険**』です。





- 日本の福祉社会は、『①自助（個々人の努力）、②共助（社会保険）、③公助（社会福祉等）の適切な組み合わせ』によって形づくられています。

|   | 考え方                               | 主な財源  | 具体的な行動や制度   |
|---|-----------------------------------|-------|---|
| 基本  | 自助<br>自ら働き、自分の健康や生活は自分で守る         | 自分のお金 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 預貯金・投資</li> <li>✓ 民間保険への加入</li> </ul>                |
| 補完  | 共助<br>生活上の様々な困難に対して、社会連帯の考え方で支え合う | 社会保険料 | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会保険<br/>年金、医療、介護、雇用、労災</li> </ul>                   |
| 社会<br>保障<br>制度<br><br>自助、共助<br>では対応<br>できない | 公助<br>特定の人々※の生活を公的に支援する           | 税金    | <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会福祉<br/>障害者福祉、児童福祉等</li> <li>✓ 公的扶助 生活保護</li> </ul> |

※ 障害者、ひとり親家庭など社会生活をする上で様々なハンディキャップを負っている人や生活に困窮する人

- **社会保険は『病気やけが、老齢、失業などで困窮の原因となりうる保険事故に遭遇した場合に一定の給付を行うことで、国民の生活の安定を図ることを目的とした保険制度』です。**

| 制度                   | 主な保障内容            |
|----------------------|-------------------|
| 1. 公的年金（国民年金・厚生年金保険） | 老後・障害状態時・遺族の生活費など |
| 2. 公的医療保険（健康保険など）    | 病気やケガにかかる治療費      |
| 3. 公的介護保険            | 介護サービス（訪問介護など）費用  |
| 4. 雇用保険（失業保険）        | 失業時の生活費           |
| 5. 労働者災害補償保険         | 仕事中のケガ等の治療費       |

|    |         |        |        |                |
|----|---------|--------|--------|----------------|
| 支給 | 基本給     | 時間外手当  | 通勤手当   | 支給額計           |
|    | 200,000 | 10,000 | 10,000 | <b>220,000</b> |
| 控除 | 雇用保険    | 健康保険   | 厚生年金保険 | 社会保険料計         |
|    | 1,000   | 10,000 | 20,000 | <b>31,000</b>  |
|    | 所得税     | 住民税    | 介護保険   | 税額計            |
|    | 4,000   | 7,000  |        | <b>11,000</b>  |

会社員の場合、社会保険料は給与天引きで納付します。  
（自営業者はご自分で納付）  
介護保険は40歳から納付開始。

○社会保険は、『**保険料（収入に応じて負担）と税金で運営**』され、社会全体で支え合う仕組みです。

○「公的年金」は、収入減少というリスクに対して収入面で保障する制度で、長生きをした（老齢年金）、障害を負った（障害年金）、親など家計を支えていた方が亡くなった（遺族年金）ときなどに受給できます。

国民  
皆年金



障害年金・遺族年金は、  
若くても、要件を満たせば、  
年金受取の対象。

○「公的医療保険」は、病気・ケガなどで通院・入院をしたときなどに給付され、健康保険組合などを通じ国民全員が加入しています。

国民  
皆保険



○「公的介護保険」は、要介護認定者等の介護サービスに係る費用を給付しています。

40歳以上が対象





- リスクに備える手段として、民間保険（任意）もあります。
- 『（強制加入の）社会保険の保障内容をよく理解したうえで、（必要に応じた）民間保険を検討』することが重要です。

## リスクのイメージ

病気・ケガ

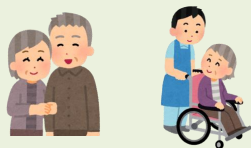


## 社会保険

公的医療保険

## 民間保険

**公的医療保険適用外の支出 + 生活費等**  
差額ベッド代や自己負担の軽減、収入減少等への備えとして民間医療保険等を検討

長寿  
介護公的年金（老齢年金）  
公的介護保険

**自身または家族が必要と考える金額**  
備えとして個人年金保険、民間介護保険等  
を検討（必要に応じて資産形成も検討）

親など家計を  
支えていた方の死亡

公的年金（遺族年金）

**自身または家族が必要と考える金額**  
子どもの教育費や遺族の生活費等への  
備えとして死亡保険等を検討

交通事故  
火事など

—

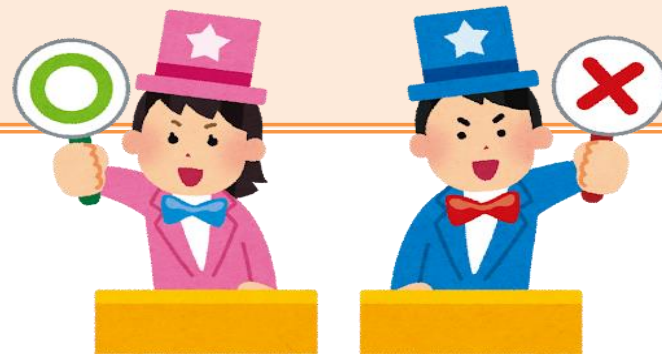
**事故による損害を補償**  
備えとして自動車保険・自転車保険、火災保険  
等を検討（自賠責保険は強制加入）

## クイズ



実際にある民間保険はどれ？

- ① ペットの病気・ケガの治療費を補償する保険
- ② 自転車で事故が起きたときのケガの治療費や被害者への賠償金を補償する保険
- ③ 旅行先が雨だったら旅行代金が戻ってくる保険
- ④ ライブに行けなくなってしまった時にチケット代が戻ってくる保険

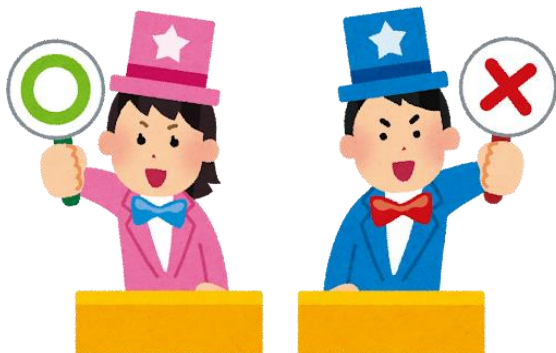


## 答え

①～④全て

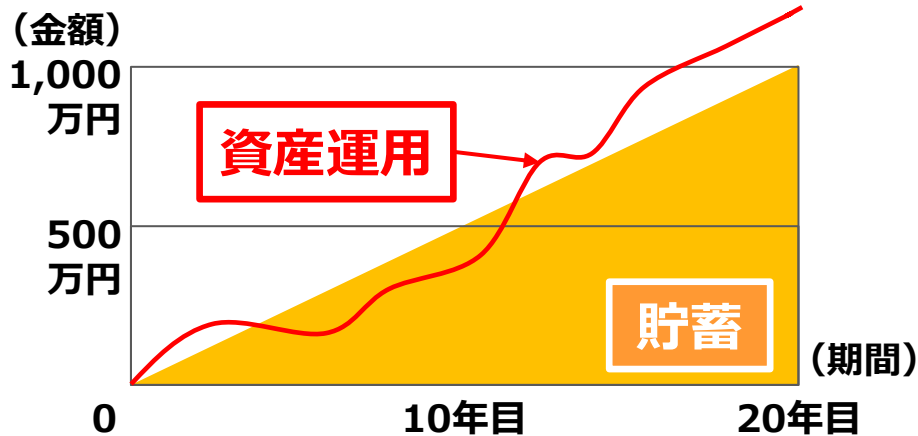
民間保険には、人生の様々なリスクを補償してくれる商品があります。

- ①ペットの病気やケガ②自転車での事故といったものだけでなく、  
③旅行先が雨だった時や④ライブに行けなくなってしまった時に  
補償を受けられるような商品も民間保険に存在します。

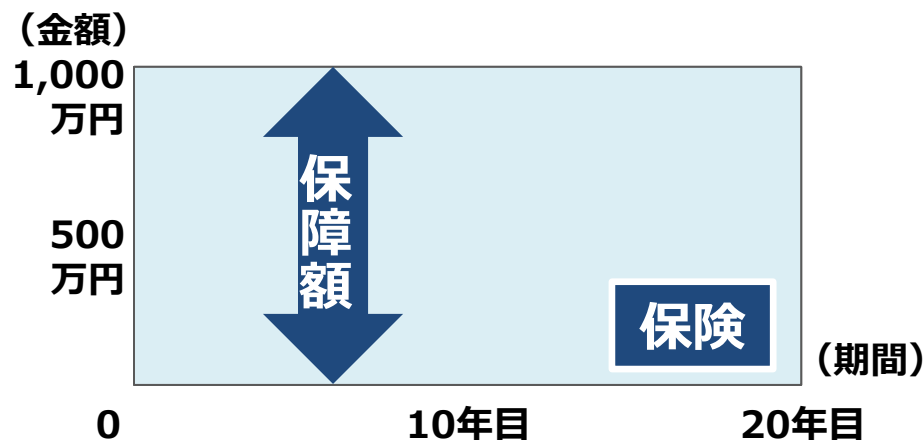


自分が事故を起こした場合は、自分の治療だけでなく、  
相手方への損害賠償もあります。  
自転車であっても高額な賠償金支払い（約1億円）  
も実際に起こっています。

### 資産形成のイメージ (三角△)



### 保険のイメージ (四角□)



目的

#### 将来のライフイベント費用



特徴

- 貯めたお金は様々な目的に使える。
- 少しずつ増えるので計画性が必要。
- 運用次第で資産が増減する。
- 想定外の支出には必要な金額に満たない場合がある

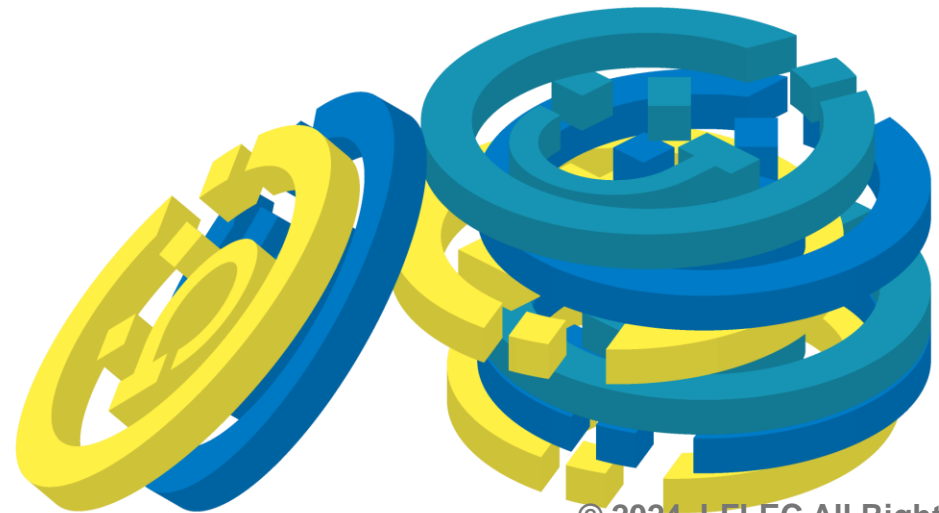
目的

#### 万一のリスク・収入減への備え



特徴

- 万一の支出に備えて保険料を支払う。
- 加入後はいつ事故が発生しても保険金を受け取れる。
- 介護・長寿による収入減なども保障。
- 社会保険 + 民間保険で保障。



## 6 【借りる】

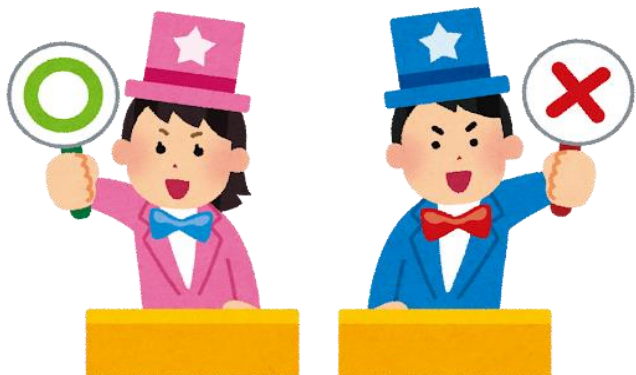
ローン・クレジット、  
奨学金

## クイズ

?

友達と海外旅行に行くので、金利18%で30万円を借りた。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるのでしょうか？

- ① 6年、約35万円
- ② 9年、約48万円
- ③ 13年、約77万円



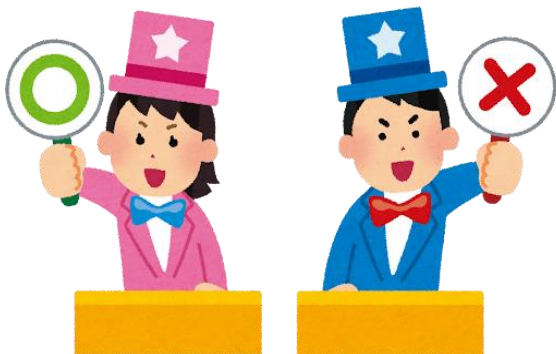
30万円の18%はいくらでしょう。  
最初の月、返済額5,000円のうち  
利息の割合はどれくらいでしょうか？



## 答え

③

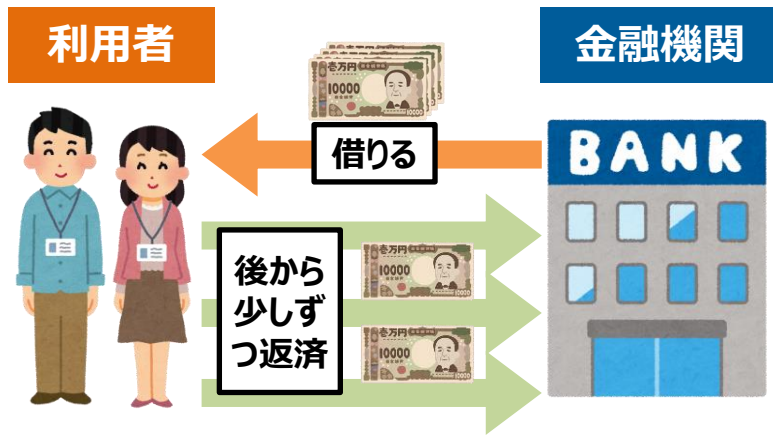
**毎月定額返済の「リボルビング払い」**での一例です。  
利息が毎月発生するため、30万円の元本に対して、  
**返済期間は13年、返済額は約77万円**にもなってしまいます。  
ローンは計画的に利用することが重要です。



30万円の18%は54,000円（利息）です。  
最初の月の利息は $30万円 \times 18\% \div 12カ月 = 4,500円$ 。  
概算ですが、毎月5,000円 $\times$ 12カ月で60,000円返しても、  
30万円の元本は6,000円しか減っていません。

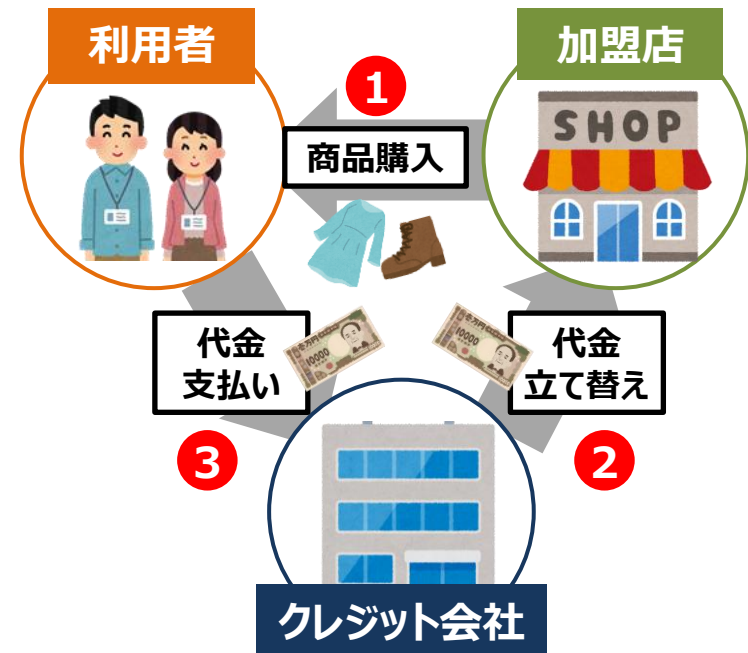
○ローンとクレジット共に仕組みの違いはあるものの、どちらも『後から返済（支払い）が必要な借入れ（借金）』です。

## ローンの仕組み



住宅・自動車などの高額な買い物で後から少しずつ返済。

## クレジットの仕組み



クレジットカードでの利用が大半。





- お金の貸し借りには『**利子・金利**』がかかります。
- また、法律（利息制限法）で『**借入金額に応じて上限金利**』が定められています。

## 利子（利息）

借りたり貸したりしたお金の、一定の割合で支払われる対価（お金）です。

## 金利（利率）

お金を貸したり借りたりする時の「値段」です。元本に占める利子の割合（%）で表示されます。

| 借入金額              | 上限金利         |
|-------------------|--------------|
| 10万円未満            | <b>上限20%</b> |
| 10万円以上<br>100万円未満 | <b>上限18%</b> |
| 100万円以上           | <b>上限15%</b> |

上記を超える金利でお金を貸し付けることは違法（いわゆるヤミ金融）です。

- ローンには、住宅・教育・自動車など使い道の限定されたものと、使い道の自由なローン（カードローン等）があります。
- 『金利は使い道・担保・利用者の信用度等によって異なります』。

### 主なローンの種類

**住宅ローン**



家を購入するときに！

**教育ローン**



子どもの教育費に！

**自動車ローン**



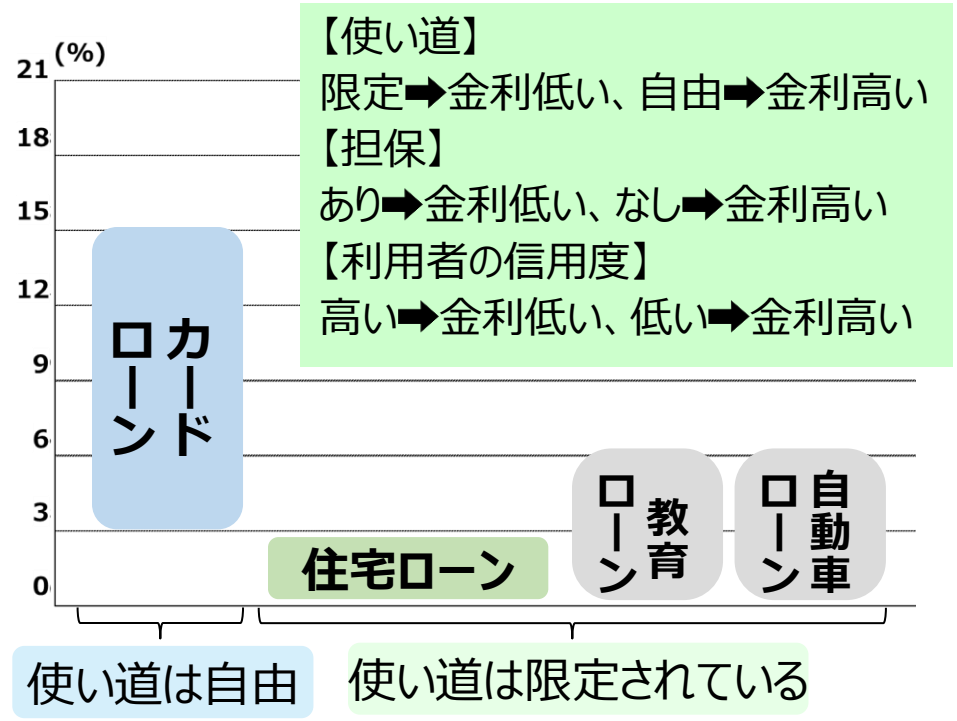
車を購入するときに！

**フリーローン**



つかいみちは自由！

### 金利の分布図





○ローンを利用するときは以下の点に注意しましょう。

### ローン利用時の留意点

- お金を借りたら利息をつけて返さなくてはいけない。  
『返済期間が長くなるほど利息を含めた支払額は大きくなる』。
- 金利は経済状況や個人の信用度、使い道などによって変わる。  
⇒『自分が返せる範囲でお金を借りることが重要』。
- 支払いの遅延などで、「信用度」がさがると、他のローンが組めなくなったり、クレジットカードが作れなくなったりする。



特に住宅ローンや自動車ローンは利用する人も多くなりますが、  
『ローンは借金であるという意識』を持ち、計画的に利用しましょう。

- クレジットカードには「ショッピング」と「キャッシング」があります。
- 支払い方を選ぶことができますが、『リボ払い・分割払いには手数料がかかるため、総支払金額が大きくなります』。

### 使える機能

- ショッピング機能  
購入代金の立て替え・後払い
- キャッシング機能  
現金の借り入れ

### 支払い方

1回払い



ボーナス一括払い



リボ払い



分割払い



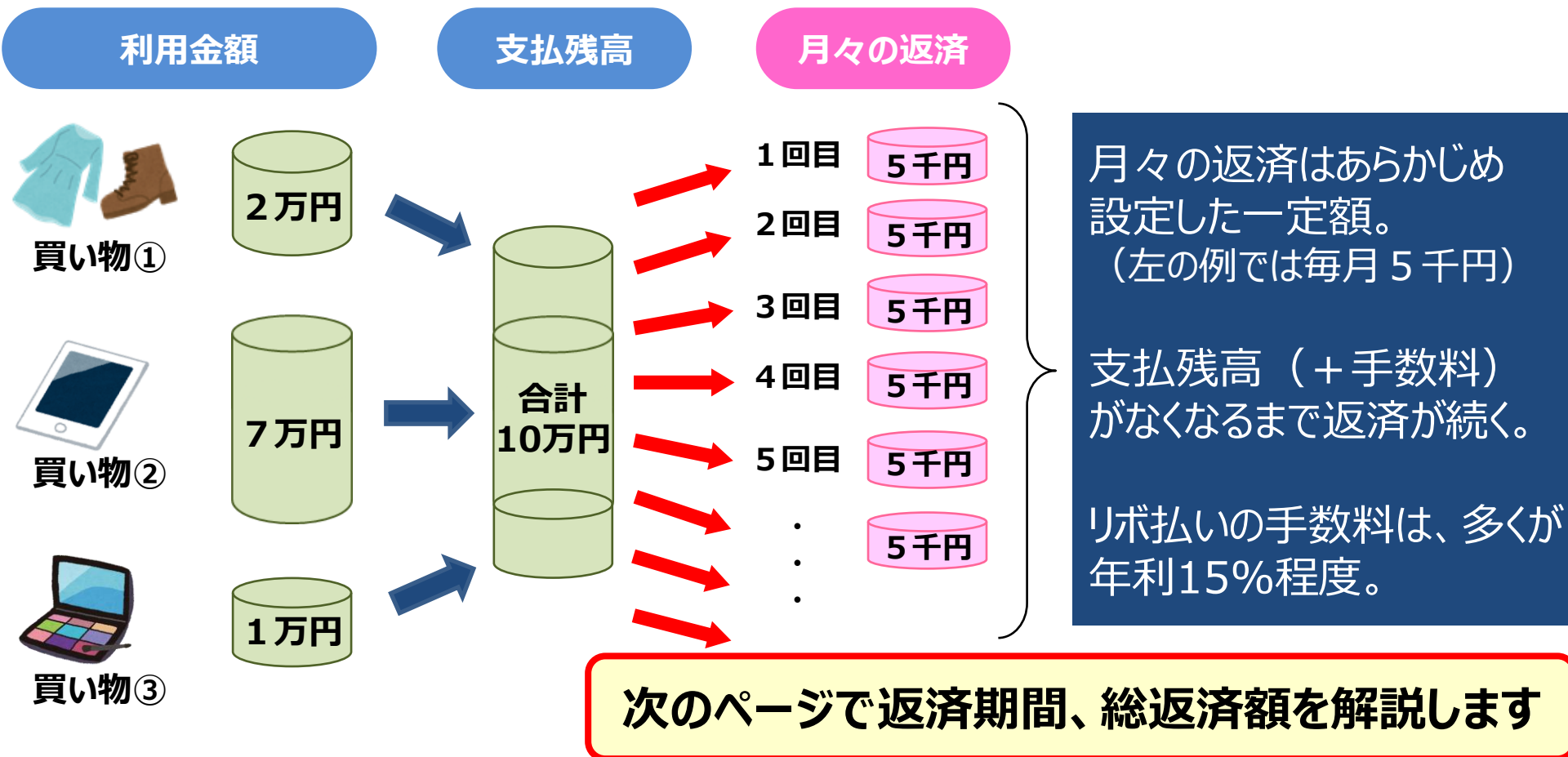
### 手数料のめやす

|      |        |
|------|--------|
| 1~2回 | 分割払い   |
| なし   | 11~15% |

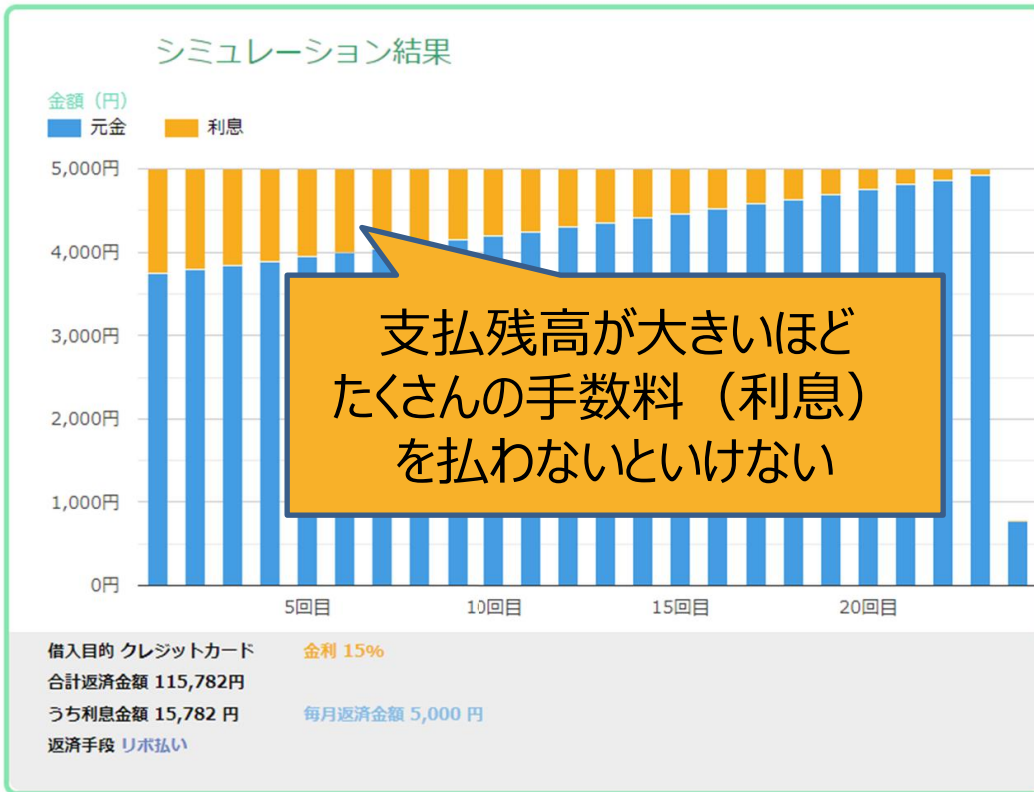
|        |        |
|--------|--------|
| リボ払い   | キャッシング |
| 12~15% | 15~18% |

クレジットカードを利用するには、カード会社による審査があります。カードの利用は原則本人のみです。

○リボ払いとは、カードの利用金額や利用回数にかかわらず、  
『あらかじめ設定した一定の金額を月々返済する方式』です。



○ **10万円をリボ払い（年利15%）、毎月5千円で返済すると、返済期間2年（24回）、総返済額115,782円になります。**



【考え方】

手数料が年利15%なので、1回目の利息は、 $10万円 \times 15\% \div 12カ月 = 1,250円$ です。返済する5,000円から利息の1,250円を引いた分が支払残高から減ることになります。

これを繰り返すと返済期間2年（24回）、総返済額約11.5万円で返済完了となります。

金融庁提供の「借金シミュレーター」で、月々の返済額、返済期間、総返済額等を確認して「**計画的に利用**」しましょう。

金融庁 借金シミュレーター

検索

- リボ払いを利用する場合は、下記の点に注意しましょう。
- 特に近年は、『**リボ払いの名前を変えているケース**』もあり、知らぬ間にリボ払いを利用してしまふ可能性もあります。

### リボ払いで気を付けること

- リボ払いは毎月一定額の支払いのため、家計管理はしやすくなります。一方で、毎月の返済額が少ないと支払残高が減らず、**長期間支払いを続けることで総支払額が多くなる可能性**があります。
- 現在の利用残高を確認せず、完済前にリボ払いを重ねてしまい、**気づかないうちに多額の手数料を支払うことになる可能性**があります。
- 最近では、「フレックス払い」「つけ払い」「定額払い」等、**「リボ払いの名前を変えているケース」**もよく見られます。「リボ払い」の名前だけ覚えておくのではなく、**どのような仕組みであるかを理解しておきましょう。**

○クレジットカードは非常に便利ですが留意点もあります。

### クレジットカード利用時の留意点

- 目の前のお金が減らないので、使い過ぎる心配がある。
- 分割払い・リボ払いは、借入金利にあたる手数料がかかる。
- カードの紛失・盗難などで悪用される危険がある。
- 支払い遅延などで、「信用度」がさがると、ローンなどが組めなくなる。







- 大学在学中は、入学金・授業料のほかに生活費もかかります。  
生活費まで含め『**大学生活では多くのお金がかかります**』。

単位：万円

|      | 入学金<br>授業料等 | 生活費 |     | 合 計        |            |
|------|-------------|-----|-----|------------|------------|
|      |             | 自 宅 | 自宅外 | 自 宅        | 自宅外        |
| 国立大学 | 243         | 170 | 440 | <b>413</b> | <b>683</b> |
| 私立大学 | 519         | 170 | 426 | <b>689</b> | <b>945</b> |

(出所) 次の資料をもとに4年間の合計金額を試算。

文部科学省「国立大学の授業料等の推移」、「私立大学等の令和5年度入学者に係る学生納付金等調査結果」

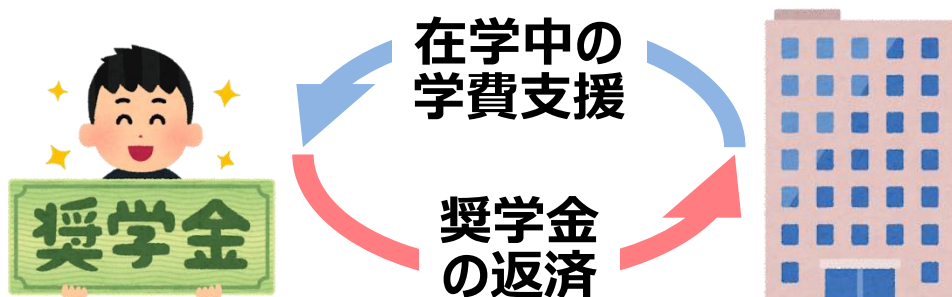
日本学生支援機構「令和4年度学生生活調査結果」

※大学授業料無償化などの各種制度は考慮していません。



○奨学金とは、経済的な理由や家庭の事情で修学が困難な学生に『**学費を給付または貸与する制度**』です。

| 制度            | 特徴   |
|---------------|--|
| <b>給付型奨学金</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>原則、返済の必要はありません。</li> <li><b>家計や学業成績の基準</b>があります。</li> </ul> |
| <b>貸与型奨学金</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>返済の必要</b>があります。</li> <li><b>無利息と利息付</b>があります。</li> </ul> |



※日本学生支援機構（JASSO）などが奨学金制度を運営しています。JASSOでは「返済」は「返還」と表記します。大学や企業などの奨学金もあります。

○以下の条件で、貸与型奨学金（利息付）を利用した場合、返済計画はどのようになるでしょうか。

### 例 1

- **国公立** 4 年制大学に自宅から通学
- 授業料・生活費で**計240万円（毎月5万円）**を借りる
- 残りの生活費はアルバイトで稼ぐ

### 例 2

- **私立** 4 年制大学に自宅外から通学
- 授業料・生活費で**計480万円（毎月10万円）**を借りる
- 残りの生活費はアルバイトで稼ぐ

○貸与型奨学金を利用した場合、『卒業後に働いて稼いだ収入から奨学金の返済を行う』こととなります。

|        | 例 1               | 例 2               |
|--------|-------------------|-------------------|
| 借入総額   | 240万円             | 480万円             |
| 返済スタート | 卒業 7 か月後から        |                   |
| 毎月の返済額 | <b>13,819円</b>    | <b>20,961円</b>    |
| 返済期間   | <b>15年間</b>       | <b>20年間</b>       |
| 総返済額   | <b>2,487,573円</b> | <b>5,030,612円</b> |

(注1) いずれの例も、貸与型奨学金（利息付）、毎月定額返済、**利率0.45%**、機関保証制度ありの場合でシミュレーションを実施。

(注2) 返済方法を変更することで、もっと早く返済を完了させることも可能。

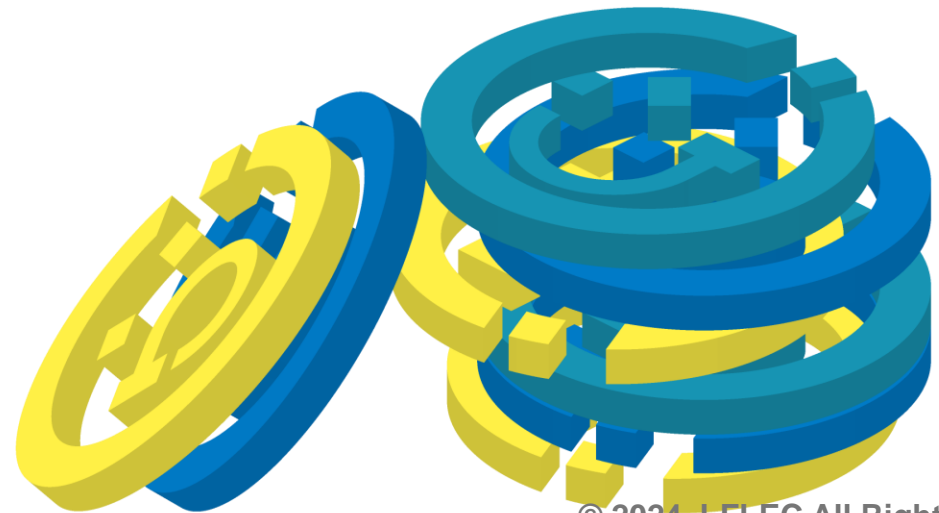
(出所) 独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金貸与・返還シミュレーション



- 奨学金には、『**月々の返済額を少なくする制度**』や『**返済を待ってもらおう制度**』があります。

### 奨学金の返済に困ったときの対応方法

- 災害や経済的困難で奨学金の返済に困ったときは、月々の返済額を少なくする制度（減額返還制度）や、返済を待ってもらおう制度（返還期限猶予）を利用できることがあります。
- 奨学金の返済を延滞すると、延滞金が発生するほか、信用度が下がり、**住宅ローンが組めなくなったり、クレジットカードを作れなくなったりする可能性があります。**
- 奨学金の返済に困ったときは、**早めに相談**するようにしましょう。



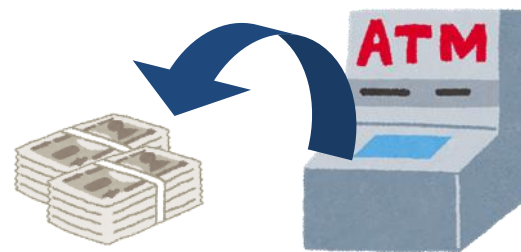
# 7 【注意】 金融トラブル

○ マルチ商法や詐欺被害などをきっかけとした多重債務・闇バイト等、  
『負のスパイラルに陥らないよう注意』しましょう。



マルチや投資詐欺など →  
最初にお金を求められることも

1



手元にお金がなくとも、言葉巧みに  
キャッシングに誘導 → 借金

2



3

借金返済のために別の金融機関や  
ヤミ金から借金 → 多重債務に



4

追い詰められて、闇バイトなどの  
犯罪に加担 → 犯罪者に

## ○『「絶対儲かる、楽しんで稼げる」等とうたった詐欺』が増えています



(出所) 日本証券業協会作成「必ず儲かるUSB」(情報商材勧誘) にご注意ください!

**高校時代の友人や、大学のサークルの先輩、職場の先輩等を通じて、投資詐欺の被害に遭う事例が多発しています**



○投資詐欺では『被害者が加害者になってしまう』こともあります



解約は出来ないけど、  
友達を紹介したら1人  
10万円紹介料を払うよ



全然儲からないじゃないか…

友人・知人を勧誘して被害が拡大  
被害者が加害者に！



○『詐欺に遭わないためのポイント』を押さえておきましょう。

1. 自分は詐欺に引っ掛からないと**思いこまない**。  
－「自分は大丈夫」と自信過剰になる人ほど詐欺被害に遭いやすい特徴があります。
2. **友人・知人（先輩など）からの勧誘**であっても注意。  
－友人・知人からの勧誘であっても、怪しいと感じたら勇気を持って断りましょう。
3. **「高額な手数料・登録料」**を請求されたら要注意。
4. **「絶対に儲かる」商品はありません**。  
－流行りの言葉（AI、メタバース、NFT、仮想通貨、暗号資産等）との組み合わせで、「もしかしたら絶対に儲かる商品があるのかも」と思ってしまいがちです。
5. **「あなただけに特別なご案内」**といった勧誘文句に注意。  
－人は「あなたは特別だ」と言われると冷静さを失いやすくなります。



- 『借金返済のために他の金融機関から借金をすること』は借金が増える原因になり、多重債務の原因になります。

## 多重債務のポイント

- 複数の業者から返しきれない借金を背負ってしまふことがあります。
- 軽い気持ちで高金利の借金をすると、借金はすぐに膨らみます。
- 収入の範囲内で生活すること、高金利の借金をしないことが重要。

多重債務に陥ってしまったら、  
多重債務相談窓口にご相談

## 多重債務に陥る原因



- 違法な金利で貸付けする『**ヤミ金融（貸金業 無登録業者）**』※  
には絶対に接触しない』でください。
- 自身だけでなく、『**会社・家族へも暴力的・脅迫的な取り立て**』  
が行われる可能性があります。

※貸金業の登録有無は金融庁HPの「登録貸金業者情報検索サービス」で確認できます。

## SNS ネット掲示板



お金を貸します！審査不要！  
#個人間融資  
#お金貸します  
#ひととき融資

ヤミ金融では法定外金利  
（20%超）を請求される  
こともあります。

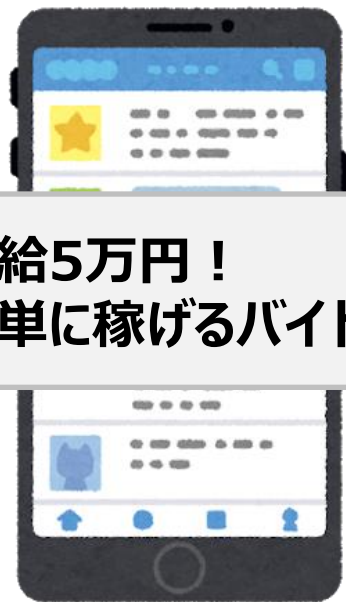
近年はSNSで個人を装って接触してくる  
ヤミ金融業者も増えています



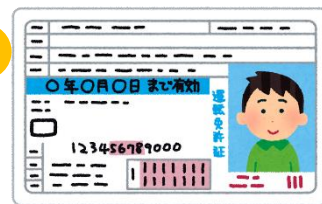
- 闇バイトは、『アルバイトではなく犯罪』です。
- 『簡単にお金が稼げるというおいしい話はない』ことを理解し、巻き込まれそうになった時は、すぐに警察などに相談しましょう。

## SNS ネット掲示板

日給5万円！  
簡単に稼げるバイト！



お仕事紹介のため、  
免許証や家族構成を  
登録してください



詐欺や強盗に  
加担させられ逮捕



○『闇バイトの特徴』を知っておき、被害を未然に防ぎましょう。

### 闇バイトの特徴や注意点

1. **「銀行口座を代理で開くだけ」**や、**「現金を引き出すだけ」**等、  
一見簡単な仕事に見える。  
－いずれも詐欺等に利用されます。簡単に大金を稼ぐ方法はありません。
2. **免許証や学生証、家族構成を登録**させる。  
－いざ危険な犯罪であることに気づいても、「住所を知っている」「家族に何かあっても知らないぞ」等と脅されることが多くなります。
3. **犯罪組織に利用され、捨て駒にされる。**  
－何度も犯罪をさせられ、最終的には実行犯として闇バイトに応募した人だけ逮捕され、犯罪組織は逃げてしまうケースも多いです。

「闇バイトに応募してしまったかもしれない」「免許証等を登録してしまい脅されている」というときは、**すぐに警察に相談**しましょう。



○金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

①『おいしい話には気をつける』。

「ローリスク・ハイリターン」はあり得ません。＝「おいしい話」は存在しません。

②向こうから近寄ってきても、『怪しいと思ったらはっきり断る』。

「今だけ」「あなただけ」には要注意。遠慮せずに「いりません」と断りましょう。

③万が一『トラブルに遭ってしまっても、決して諦めない』。

ひとりで悩まず、早めに適切な相手に相談することで解決策が見えてきます。



- 金融トラブルに限らず、消費者トラブルで困った際は、  
『**独りで悩まずに相談**』しましょう。

|  |  |
|--|--|
| <p>契約や商品について困ったときは<br/>⇒ 消費者ホットライン<br/>(全国共通)</p>  | <p>188 (いやや) <br/>消費者庁 消費者ホットライン188<br/>イメージキャラクター いやヤン</p> |
| <p>警察に相談したいときは<br/>⇒ 警察相談専用電話<br/>(全国共通)</p>       | <p>#9110</p>   |
| <p>金融サービスについて困ったときは<br/>⇒ 金融庁<br/>金融サービス利用者相談室</p> | <p>0570-016811</p>   |





- J-FLECのホームページでは、皆さんの生活に役立つ、お金に関する様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.j-flec.go.jp/>

